

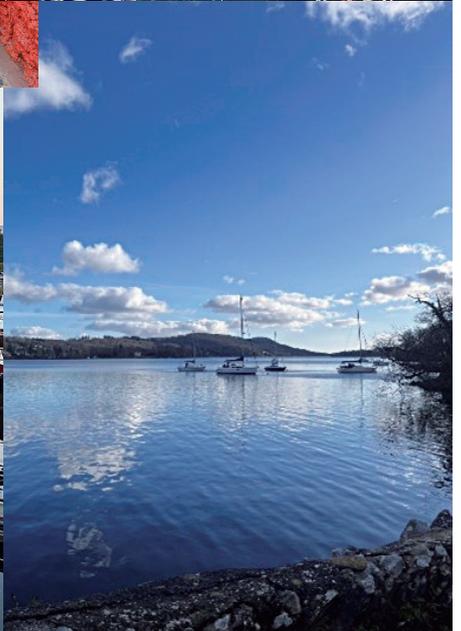
2026

経営学部独自海外留学プログラム Business Studies Abroad Guidebook

BSA の手引き



College of Business Administration
Ritsumeikan University



CONTENTS

1. BSAへようこそ!	4
(1) BSAとは	
(2) プログラムの種類と目的	
(3) BSA派遣先一覧	
(4) 留学の流れ	
(5) 応募から留学までのスケジュール	
2. BSA I について	8
(1) BSA I の特徴	
(2) 応募資格	
(3) 派遣先一覧	
(4) 参加費用・奨学金	
(5) 受講登録	
(6) 事前講義・事後講義	
(7) 単位授与と成績評価	
(8) 各コース紹介・学生体験記	
3. BSA I Plusについて	15
(1) BSA I Plusの特徴	
(2) 応募資格	
(3) 派遣先	
(4) 参加費用・奨学金	
(5) 受講登録	
(6) 事前講義・事後講義	
(7) 単位授与と成績評価	
(8) プログラム紹介・学生体験記	
4. BSA II・IVについて	19
(1) BSA II・IVの特徴	
(2) 応募資格	
(3) 派遣先一覧	
(4) 費用・奨学金	
(5) 学籍と受講登録	
(6) 単位認定と成績評価	
(7) 各派遣先大学紹介・学生体験記	
5. BSA III について	37
(1) BSA III の特徴	
(2) 応募資格・派遣先	
(3) その他	
(4) 派遣先紹介・学生体験記	
6. BSAに参加するにあたっての注意事項	39
7. BSAプログラムQ&A –よくある質問–	40
8. BSA各プログラム派遣実績	42
9. 留学に向けて	44



(1) BSA とは

経営学部では、グローバルな視点に立って世界を舞台に活躍するビジネスリーダーを育成するため、経営学部独自留学プログラム Business Studies Abroad (BSA) を実施しています。

BSA には、海外での学びを経験するプログラム (BSA I) や海外の大学 (ビジネススクール) で外国語を使って経営学を学ぶ留学プログラム (BSA I Plus、BSA II・IV)、海外企業でのインターンシップを通じて国際ビジネスの現場を体験するプログラム (BSA III) があります。日常的な経営学部での外国語・教養科目・専門科目の学びに加えて、BSA による“Border”を超えた学びを通じて、皆さんは将来「ビジネスを発見し、ビジネスを創造する」人材となれることでしょう。皆さんの積極的な参加を期待しています。

(2) プログラムの種類と目的

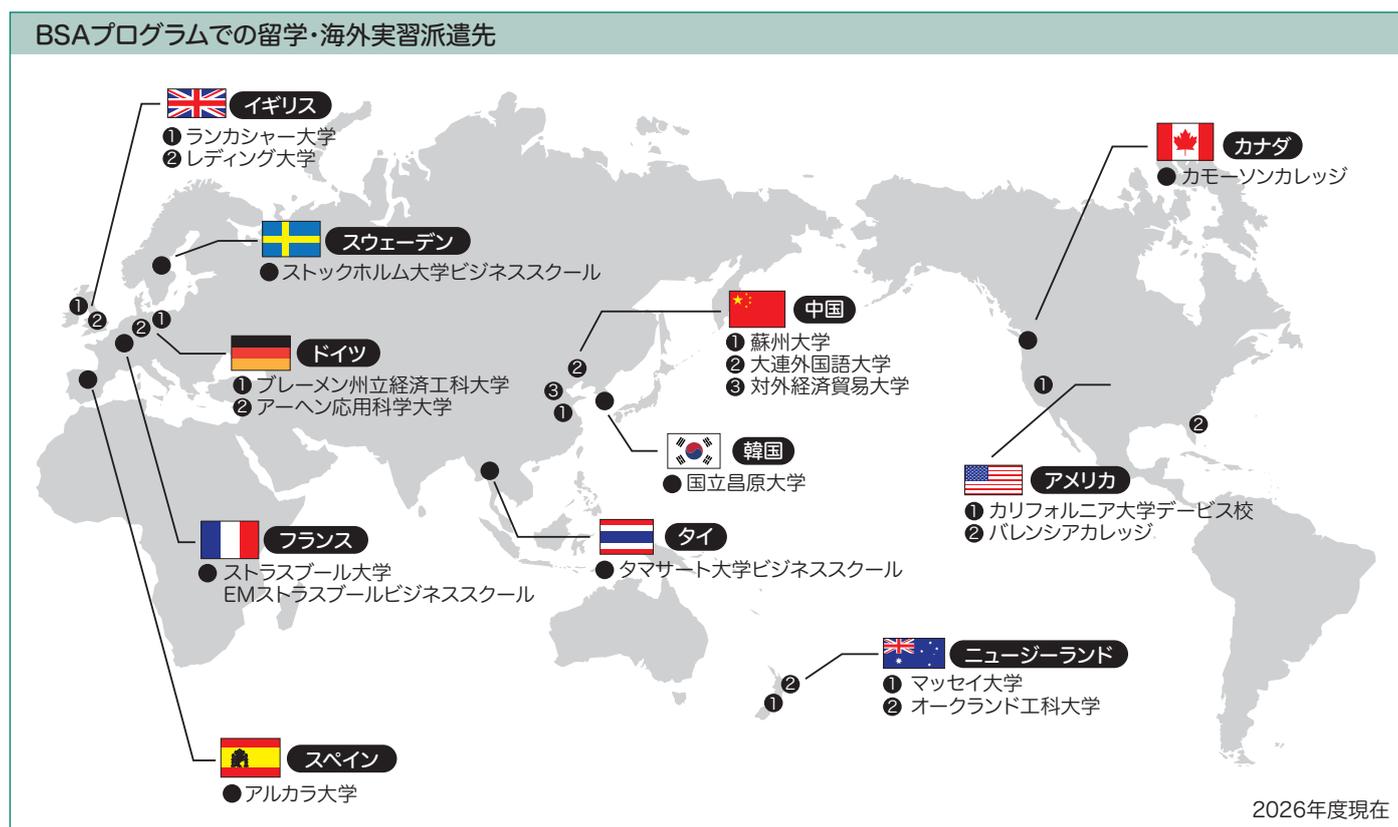
BSA は、内容やレベル別に次の4つのパターンで実施しています。

BSA I (派遣型) (P.8~14)	1回生から参加できるプログラムで、外国語の授業と現地企業見学や基礎的な経営学の講義を通じて異文化理解を体験します。「大学在学期間中に留学をしたいけど、あまり外国語力には自信がない」「講義を受講するだけでなく、さまざまなアクティビティも行いたい」という方のための First Step となる、約2週間~1ヶ月間の海外派遣プログラムです。
BSA I Plus (派遣型) (P.15~18)	1回生から参加できるプログラムで、カリフォルニア大学デービス校で実施する「Entrepreneurship and International Business Program for Ritsumeikan University」に参加し、ビジネス英語力の向上と多国籍企業で働く際のスキルの向上および革新的な企業の取り組みなどを学ぶ、約1ヶ月間の海外派遣プログラムです。
BSA II・IV (交換/派遣型) (P.19~36)	BSA II 2回生から参加できるプログラムで、主に派遣先大学における1セメスター間を利用して、ビジネススクールや経営学部を有する大学で、専門科目を他言語で理解できる能力を磨きます。 BSA IV 2回生から参加できるプログラムで、主に派遣先大学における2~3セメスター間を利用して、ビジネススクールや経営学部を有する大学で、経営学に関する専門科目を他言語で受講しながら、仕事で使える高度なコミュニケーション能力や国際経営の専門知識の修得を目指します。
BSA III (派遣型) (P.37~38)	2回生から参加できるプログラムで、英語でビジネスに関する授業を受講するとともにアメリカ・フロリダ州のウォルト・ディズニー・ワールドで実務研修を行い、国際社会に必要とされるビジネス感覚を養います。

派遣型留学と交換型留学の違いは、以下の通りです。

派遣型留学	派遣型留学とは、経営学部と学生派遣協定を締結している海外の大学・機関へ、一定の期間、留学する制度です。授業料等のプログラム参加費用は、立命館大学の学費とは別に、別途納入する必要があります。その他、留学に係る経費も自己負担となります。
交換型留学	交換型留学とは、一般的に「交換留学」と呼ばれ、経営学部と学生交換協定を締結している海外の大学 (ビジネススクール) へ、一定の期間、留学する制度です。交換留学制度により、立命館大学に授業料を納入すれば、派遣先大学での授業料を納入する必要はありません。ただし、履修科目、登録単位数等によっては有料となる場合があります。その他、留学に係る経費は自己負担となります。

(3) BSA派遣先一覧



プログラム名	派遣期間	派遣先
BSA I	約2週間～約1ヶ月間	<ul style="list-style-type: none"> ・国立昌原大学（韓国） ・蘇州大学（中国） ・マッセイ大学（ニュージーランド）
BSA I Plus	約1ヶ月間	<ul style="list-style-type: none"> ・カリフォルニア大学デービス校（アメリカ）
BSA III	約6ヶ月間	<ul style="list-style-type: none"> ・バレンシアカレッジおよびウォルト・ディズニー・ワールドでの企業実習（アメリカ）
BSA II・IV	1セメスター または 2セメスター	<ul style="list-style-type: none"> ・大連外国語大学（中国） ・対外経済貿易大学（中国） ・カモーンカレッジ（カナダ） ・オークランド工科大学（ニュージーランド） ・タマサート大学ビジネススクール（タイ） ・ストックホルム大学ビジネススクール（スウェーデン） ・ストラスブール大学EMストラスブールビジネススクール（フランス） ・ブレーメン州立経済工科大学（ドイツ） ・アーヘン応用科学大学（ドイツ） ・アルカラ大学（スペイン） ・ランカシャー大学（イギリス） ・レディング大学（イギリス）
BSAIV1.5年	3セメスター	<ul style="list-style-type: none"> ・対外経済貿易大学（中国）

(4) 留学の流れ

留学をする際、皆さんには学習面・生活面・各種手続き等において、さまざまな計画と準備が必要になります。下の表を参考に留学の計画と準備を行うようにしてください。

BSA参加までのロードマップ	Step1 留学目標設定	○大学生生活のプランを立てましょう。 ○留学の目標を設定しましょう。
	Step2 BSA応募資格達成	○応募基準の外国語スコアの達成に向けて準備しましょう。 ○応募基準のGPAスコアの達成に向けて準備しましょう。
	Step3 留学情報の収集と相談	○ 派遣者募集ガイダンスに参加しましょう。 ○募集要項を確認して 経営学部事務室 や父母等家族のみなさんに 相談 しましょう。
	Step4 参加プログラム選択	○留学先で学びたいことを明確にしましょう。 ○留学先（国・地域）や留学期間を決めましょう。
	Step5 留学前後の履修計画	○留学前後の履修計画を立てましょう。 ○就職活動の日程を確認し、計画を立てましょう。

※申請前には事前のガイダンス出席や経営学部事務室に相談するようにしてください。

(5) 応募から留学までのスケジュール

BSA各プログラムの募集開始時期と留学時期は以下の通りです。

語学要件のあるプログラムに応募する場合は、募集開始時期までに外国語試験の受験計画を立て、語学スコア等の提出ができるよう準備してください。

また、募集ガイダンスの日程はRITSUMEIKAN STUDENT PORTAL上で確認することができます。希望するプログラムの募集ガイダンスに参加して、募集要項や留学に関する情報を入手しましょう！

BSAⅢに関し、アメリカ（ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム）は例年2月・8月の派遣となります。詳細は、募集ガイダンス・募集要項にて案内します。

■ BSAⅠ・BSAⅠPlus（例年）

	例年のスケジュール												
	春学期						秋学期						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
BSAⅠ・BSAⅠPlus	募集ガイダンス	各種手続き・ガイダンス				留学期間		事後講義					単位授与
夏期出発	募集期間 4～5月上旬		事前講義										

FAQ

Q BSAⅠ（ⅠPlus）に参加したいのですが、応募準備はいつから行えばよいでしょうか。

A BSAⅠ（ⅠPlus）では例年4月に募集ガイダンスを行い、5月上旬頃に応募締切となりますので、それまでにBSAホームページから募集要項、応募用紙をダウンロードして必要書類を準備してください。

Step6 出願・選考	<ul style="list-style-type: none"> ○募集要項を確認し、必要書類を提出しましょう。 ○書類選考・面接選考を受けましょう（※BSA II・IVは書類選考のみ）。
Step7 留学の決定	<ul style="list-style-type: none"> ○選考結果を確認しましょう。 ○留学派遣者向けのガイダンスに出席しましょう。
Step8 出発前準備	<ul style="list-style-type: none"> ○パスポート確認、ビザの申請手続きをしましょう。 ○住居の申込、留学期間の準備をしましょう。
Step9 留学	<ul style="list-style-type: none"> ○授業や課外活動には積極的に参加しましょう。 ○留学中の生活に慣れるように努力しましょう。
Step10 留学帰国	<ul style="list-style-type: none"> ○留学終了、単位認定、受講登録等の手続きをしましょう。 ○留学生バディとして活躍しましょう。

■ BSA II・BSAIV（2026年度募集分）

		2026年度												2027年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
BSA II・IV	春期出発	募集ガイダンス 4月～5月中旬	留学準備 各種手続き・ガイダンス										BSA II 留学期間：1セメスター			BSAIV 留学期間：2セメスター									
	夏期出発						募集ガイダンス 10月～11月上旬	留学準備 各種手続き・ガイダンス					BSA II 留学期間：1セメスター			BSAIV 留学期間：2セメスター									
BSA IV 1.5年	春期出発						募集ガイダンス 9月～10月上旬	留学準備 各種手続き・ガイダンス				BSAIV1.5年 留学期間：3セメスター (2027年2月下旬～2028年7月頃まで)													

FAQ

Q BSA II・IVに応募したいのですが、応募準備はいつから行えばよいでしょうか。

A BSAの中・長期留学プログラムでは、派遣の約1年前に募集を行います。ただし、BSAIV1.5年（対外経済貿易大学）プログラムは半年前に募集を行いますので留意してください（上表参照）。志望する派遣先大学の成績基準、語学基準等を確認のうえ、BSAホームページから募集要項、応募用紙をダウンロードして必要書類を準備してください。

(1) BSA I の特徴

BSA I は外国語のスコアを問わない入門編の海外留学プログラムで、引率教員も同行するため、海外へ行くのが初めてという方にも安心して参加していただけます。なお、引率教員の同行期間は派遣先によって異なります。

(2) 応募資格

- ①経営学部生であること。※大学院生は対象外
- ②2回生以上の応募者は累積もしくは直近セメスターのGPAが2.0以上であること。
- ③本プログラムの趣旨・目的を理解し、事前講義・現地学習・事後講義のすべてに参加可能であること。
- ④派遣先大学での学習および課外活動について、多大な関心と意欲を持っていること。

※派遣者の決定にあたっては、上記応募資格を満たした応募者に対し、書類審査および面接審査を実施します。

(3) 派遣先一覧

コース	派遣先大学	所在地	実施期間	募集人数	宿泊形態
韓国	国立昌原大学	韓国・慶尚南道昌原市	8月上旬～8月中旬 (約2週間)	25名	学生寮
中国	蘇州大学	中国・江蘇省蘇州市	8月上旬～9月上旬 (約1ヶ月間)	20名	学生寮
ニュージーランド	マッセイ大学	ニュージーランド・パーマストンノース	8月上旬～9月上旬 (約1ヶ月間)	30名	ホームステイ

(4) 参加費用・奨学金

①参加費用

参加費用は全額個人負担となります。実習費、課外活動費、宿泊費、食費（別途実費負担の場合あり）、渡航費などが含まれます。物価の上昇、為替相場の変動によって納付する参加費用が変動します。

■参加費用（経営学部への納付金額）に含まれるもの

コース	航空券代	実習費課外活動費	教材費	滞在費	派遣先大学施設使用料 (インターネット、図書館など)	現地空港・派遣先大学間往復送迎費用	食費	フィールドワーク費用 (※1)	ビザ発行に関する費用	危機管理サービス加入費用	現地大学の指定保険加入費用
韓国	○	○	○	○	○	○	2食/日 (※2)	○	×	○	×
中国	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
ニュージーランド	○	○	○	○	○	○	3食/日	○	×	○	○

(※1) 別途必要な場合もあります

(※2) 平日の朝・昼・夕食のうち2食と週末の昼・夕食

■参加費用に含まれないもの

- ・現地での交通費
- ・クリーニング代、通信費、土産代などの雑費
- ・ビザ発行に関する費用：ニュージーランドコースのみ
- ・食費：韓国コース（一部）と中国コース
- ・海外旅行保険加入費用（大学指定の保険加入が必須です）

■参加費用見込

※奨学金支給額は含んでいません。

※参加人数や情勢による費用の変動があるため、正式な参加費用は派遣者決定後（7月初旬頃）に通知します。

コース	参加費用見込金額
韓国	約25～35万円
中国	約35～45万円
ニュージーランド	約70～80万円

■過年度実績

※奨学金支給額は含んでいません。

コース	2025年度	2024年度
中国・韓国	実施なし	実施なし
ニュージーランド	71万5千円	82万4千円

②奨学金

立命館大学では、留学プログラムに参加する学生に「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」を支給しています。この奨学金は、参加費用の一部を補助することにより、プログラムへの参加・修了を奨励する制度です。なお、奨学金の支給額は今後変更になる可能性がありますので、あくまで参考としてください。

※該当する奨学金は参加費用の一部として充当し、参加費用請求時に以下の金額を差し引いて通知します。

コース	奨学金支給金額（予定）
韓国	5万円
中国	6万円
ニュージーランド	10万円

※奨学金支給金額は、実際に負担する参加費用によって変動します。

(5) 受講登録

- ・受講登録は、経営学部事務室にて一括登録を行います。皆さんが登録する必要はありません。
- ・年間受講登録制限単位数の制限外で登録を行います。
- ・受講登録後の辞退については成績評価がF評価となります。

(6) 事前講義・事後講義

事前講義・事後講義共に、プログラムの一部として単位授与の対象となり、担当教員の許可を得ずに事前講義または事後講義を1回でも欠席すると、派遣先大学での留学参加および単位を認めない場合がありますので、必ず出席してください。

■事前講義

時期 6月～7月

回数 韓国コース：95分×3回程度

中国コース：190分×3回程度

ニュージーランドコース：190分×3回程度

■事後講義

時期 10月～12月

回数 韓国コース：95分×1回程度

中国コース：190分×2回程度

ニュージーランドコース：190分×1回程度

※事前講義・事後講義の日時はコースごとに設定します。

※その他関連ガイダンス（派遣者ガイダンス、保健センターガイダンス、危機管理ガイダンス）にも必ず出席してください。

(7) 単位授与と成績評価

- ・成績評価
A+、A、B、C、F評価のいずれかとなります。

- ・評価対象（以下の全てが評価対象となります）

事前講義

海外派遣プログラム

研修言語によるレポート

事後講義

海外派遣後のレポート

※海外派遣後のレポートは、事後講義で指導があります。

■このプログラムは下表の科目で単位授与されます。

（※入学年度・適用カリキュラムによって授与分野・科目名が異なります。十分に確認して履修計画を立ててください。）

2022年度以降入学者

		韓国コース	中国コース		ニュージーランドコース	
国際経営・経営学科（両学科）	分野	専門科目 (自学科・自コース以外)	専門科目 (自学科・自コース以外)	教養科目	専門科目 (自学科・自コース以外)	教養科目
	科目名	外国留学特修科目	外国留学特修科目	外国留学科目	外国留学特修科目	外国留学科目
	単位数	2単位	4単位	2単位	2単位	2単位
	合計	2単位	6単位		4単位	

※ 2021 年度以前入学生は、学修カリキュラムが異なるため、経営学部事務室に問い合わせください。

(8) 各コース紹介・学生体験記

中国コース〈蘇州大学〉

プログラムの流れ



中国・江蘇省

■蘇州市の特徴：

2000年以上の歴史を有する歴史都市であり、園林文化が発達し、「東洋のベニス」と呼ばれている。上海まで新幹線で30分。近郊の蘇州工業園区には1,000社以上の日本企業が進出している。

蘇州大学

■創立：1900年

■学生数：約50,000人

■大学の特徴：

中国国家プロジェクト「211工程」の指定校で江蘇省所轄の重点大学です。103の学部、修士、博士コースが設置されており、日本、フランス、ドイツ、アメリカ、カナダ、オーストラリアなどの国・地域の200ヶ所にのぼる大学と協定を結んでいます。毎年外国人留学生、中国語進修生（非正規留学生）など約1,000人を受け入れています。

項目		内容	
事前講義	事前講義	<ul style="list-style-type: none"> BSA I 中国の概要説明 日中の歴史問題を考える 中国について発表（概況、歴史、文化、生活） 日中経済について発表 訪問企業について理解 企業研究のテーマを設定し、調査計画書を作成 	
	中国語	発音、日常会話を中心とした簡単な聴・説・写・文法解説	
海外派遣	経営学入門科目	中国概況、中国経済、中国市場動向、日中経済、日中ビジネス	
	フィールドワーク	歴史文化	(例) 歴史名所の見学、太極拳、書道、昆劇観賞などを体験する
		中国社会	(例) (1) 消費市場の見学 (2) 上海見学
	現地企業訪問	(例) 日系企業（予定） (1) JETRO（日本貿易振興機構）上海センター (2) 日系企業 中国企業（予定） (1) 中国系の企業 (2) その他関係機関	
学生交流	派遣先大学外語学院日本語学科学生との交流会・スポーツ、パーティー		
事後講義	事後講義① (蘇州大学にて)	中国の歴史文化・社会生活に関する報告 ・研究の成果報告 中国の経済環境と在中企業の経営戦略に関する報告 ・企業研究の成果報告 (蘇州大学の教職員と学生が参加して交流する予定)	
	事後講義② (日本帰国後)	中国のビジネス環境と在中企業の経営戦略に関するレポートの報告	

※上記内容は、開講年度により変更となる場合があります。

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	中国語	中国語	中国語	中国語	中国語	中国語	観光・買い物
午後	中国経済 (講義)	文化体験 学生交流	中国経済 (講義)	文化体験 学生交流	中国経済 (講義)	中国経済 (講義)	

※上記内容は、開講年度により変更となる場合があります。

留学体験記



経営学科 1回生 2019年度派遣者
留学先：蘇州大学
留学期間：約1ヶ月間

私がBSA | の中国コースへの参加を決めたきっかけは、ほんの少しの中国への興味でした。

留学先の蘇州は「水の都」といわれ、いたるところに川があり、夜景が特にきれいで魅力的な都市でした。日本より人が多く、また建物や道路などいろいろなものの規模が大きく、日本との違いがはっきりと感じられました。蘇州は上海など外国人が多い都市とは違い、あまり外国人が少ないためか、店の店員さんであっても英語が通じない人が多く、初めの頃は戸惑うときも沢山ありました。しかし、蘇州大学で受けた中国語の授業を通して、少しずつ中国語という言葉に触れ、学んでいくことで、店での注文や買い物の時など自分たちだけでもできるようになりました。中国語の授業では、中国語をただ単に頭に入れるのではなく、じっくり基礎から勉強し、また二人一組での会話練習や早口言葉の練習などのゲーム形式で授業を進めることで、より楽しく、より深く中国語という言葉学ぶことができました。そして、中国経済に関する授業では、先生が日本語で授業を行い、中国の経済についての話だけではなく、日本と中国の従来の関係性や日本経済との比較などにも言及されていて、とても理解しやすく、楽しく授業を受けることができました。上海での企業見学においても、ここで学んだ内容が役に立ちました。企業見学では、各班につき2社ずつ担当し、全員で合計8社を訪問しました。中国の会社から日系企業まで様々な企業があり、それぞれの企業で実際に工場見学をしたり製品に直接触れさせていただき、

とても有意義な時間を過ごすことができました。こういったカリキュラム以外にも、蘇州大学の学生との交流会や自由時間もあり、たくさんの方に挑戦してみることができました。現地学生との交流として、私は自由時間のある日などを使い、現地の学生さんと映画やショッピングに行きました。映画は中国のもので、すべての内容を理解することはできませんでしたが、初めて行く中国で映画を見るという新しい挑戦は、私にとってはとても意味のある体験でした。

今回の留学を通して、私は何かに挑戦することの大切さや楽しさを知りました。見知らぬ地での様々な活動は、つらいことも沢山ありましたが、それ以上にできなかったことができるようになる喜びの方が大きく感じられました。このことにより、私は迷っていた英語圏への長期留学を決心し、現在、それに向け日々努力しています。初めは少しの興味からの留学でしたが、今となっては私の大学生活、ひいてはこれからの人生において、とても大きな意味を持つ留学に変わりました。もし今、海外留学をするか悩んでいる、なかなか決心のつかない人がいたら、ぜひ留学することをお勧めしたいです。ただの興味本位であっても構いません。その「興味」がのちにどう変わってくるかはわからないことです。皆さんもぜひ、蘇州で意味ある留学生活を過ごしてみませんか？

※先輩体験記より抜粋

過年度派遣学生からのコメント

- ・わからない言語の国で、積極的に現地の人と話すことは、とても難しいことでしたが、その分積極性が身につきました。自分にはなかったものを身に付け、帰って来れた気がしています。1ヶ月間という短い期間でしたが、本当に楽しかったです。
- ・中国について様々なことを学ぶことができました。中国についての考え方や価値観などが大きく変わり色々なことに興味を持てるようになりました。とてもいい経験になったと思います。
- ・BSA | は、中国語を学んでいない人でも充実した生活を送ることができるプログラムです。現地の学生は英語も話せるので、英語と中国語を練習することができます！もし、少しでも留学に興味があるのなら参加するべきだと思います！
- ・食べ物の値段は安いし、美味しいし、確実に太るけど、とても楽しい思い出ばかりできました！中国の今を実際にこの目で触れることができたのは非常に貴重な経験になりました。
- ・中国に対しての考えが変わるとも身になる留学プログラムだと思います。夏休みを利用していい経験になること間違いなしです。
- ・1ヶ月間ですが留学経験のない方にとっては自分を成長させる良い機会になると思うのでぜひ参加してみてください！

BSA | 中国コースでは、派遣に関わるブログを作成し、派遣前、派遣中、派遣後の学生の生の声をお届けしています。
興味のある方は一度参考までに読んでみてください！

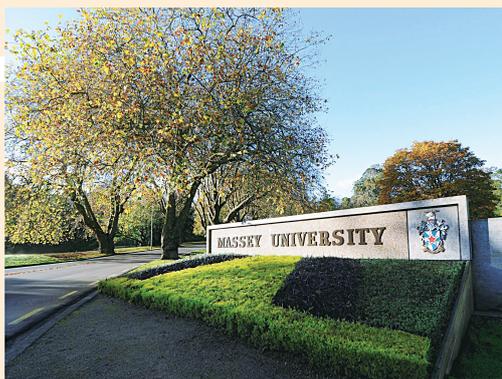


ニュージーランドコース〈マッセイ大学〉

プログラムの流れ

	項目	内容	
事前講義	事前講義	<ul style="list-style-type: none"> BSA I ニュージーランド概要 英語日常会話 ニュージーランド社会事情に関するグループ報告 自宅にて英語のオンラインプレースメントテスト(予定) 	
	英語講義	<ul style="list-style-type: none"> リスニング、リーディング、ディクテーション、ライティング、ディスカッション及び文法の総合的学習(発音指導、語彙研究含む) ビジネス英語、ビジネスコミュニケーションの基礎 	
海外派遣	経営学入門科目	<ul style="list-style-type: none"> 経済学の基礎知識(需要と供給・価格メカニズムなど) 環境経済学の基礎、ニュージーランドの自然と農林業 ニュージーランド経済(貿易理論) 日本とニュージーランドのビジネス比較 異文化理解 	
	フィールドワーク	歴史文化社会	マオリ文化体験、インドアカート、ゴルフアクティビティ、オークランド観光など
	学生交流		ポットラックパーティーなど
事後講義	事後講義	<ul style="list-style-type: none"> ニュージーランドの経済と経営に関する成果の個人報告 個人報告に基づく英文エッセイの執筆と報告書の作成 	

※上記内容は、開講年度により変更となる場合があります。



ニュージーランド・パーマストンノース

■パーマストンノースの特徴：

首都ウェリントンから約200キロ北に位置し、大学や高等教育機関、政府の研究機関が集まっている。親日家も多く、暮らしやすい街として人気がある。

マッセイ大学

■創立：1927年

■学生数：約40,000人

■大学の特徴：

ニュージーランド最大で学術的にもトップクラスにランクされる教育、研究機関です。レクリエーション、スポーツセンターをはじめとして、図書館、カフェテリアなど大学の施設が非常に充実しています。アジアをはじめ、120以上の国・地域から留学生5,000人以上の受入を行い、大学が保有しているEnglish Language Centerで留学生向けの語学プログラムを展開しています。



週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	English class	English class	English class	English class	English class	ホストファミリーと教会に行く
午後	Business class	Business Site Visit	Lecture	NZ Culture: Exchange with Massey Students	NZ Culture: Introduction to Maori Culture	友達とカフェに行く
夜	自習	サッカー	カフェに行く	自習	買い物	映画鑑賞

※上記内容は、開講年度により変更となる場合があります。

留学体験記



経営学科 1回生 2025年度派遣者
留学先：マッセイ大学
留学期間：約1ヶ月間

マッセイ大学での学び

マッセイ大学へは、ホームステイ先からバスに乗って通いました。平日5日間は授業があり、基本的に、午前は英語を勉強するクラス、午後は英語で経営について学ぶクラスでした。午後のクラスでは、経営だけでなく、マオリの文化を教えていただいたり、マッセイ大学の学生と交流したりもしました。また、週に1度は「Business Site Visit」があり、現地の企業に見学に行きました。ニュージーランドでの企業経営を実際に肌で感じられる、貴重な経験でした。話の内容を聞き取ろうと頑張ったので、リスニングの能力が伸びていることを実感しました。平日にも様々なイベントがあったため、毎日新鮮にマッセイ大学で学べました。

緊張のホームステイ

私がこの留学の中で一番不安だったこと、一方でこのプログラムに参加するひとつの理由になったことが、ホームステイでした。ホストファミリーと英語で意思疎通し、仲良くなれるか非常に不安でしたが、英語のスピーキング能力を最大限伸ばすためにホームステイのプログラムに参加したいという思いがあったのです。私は、子どもが4人いる家庭でした。やはり最初は緊張しましたが、子どもたちと一緒にカードゲームで遊び、映画を見るなどしたことで、少しずつ家族に溶け込めたように思います。毎日の楽しみだったのが、夜ご飯です。見たことのない料理が多く、美味しく、楽しい時間でした。休日には、山登りや、教会に連れて行ってくれました。コミュニケーション面や生活習慣の違いに慣れることなど、困難もありましたが、それを上回るほど、心が動かされる出来事が多い刺激的な日々で、ホームステイが出来て良かったと感じています。

共に支え合った仲間

この留学期間が非常に楽しい思い出になったのは、一緒に行った仲間の力が大きかったです。授業、放課後、休日と多くの時間を共に過ごしました。お昼ご飯は、それぞれのホストファミリーの話などをしながら、毎日輪になって食べ、放課後も近くのカフェを探して行ったり、サッカーをしたりしました。毎日、みんなと話して笑っている時間が楽しくて、全部いい思い出です。そんな中でも一番大きなイベントだったのは、週末にウェリントン旅行に行ったことです。行く場所や食べる物など全部みんなで相談して決めて、とてもワクワクしましたし、距離が縮まったと感じました。私にとって、仲間がいることの安心感は大きかったです。

BSA I のNZプログラムに参加して

行く前は不安や心配ばかりでしたが、振り返ってみるとあっという間で、人生の中で一番濃い一か月間でした。このプログラムの良さは、手厚いサポートがあり、プログラム内容が充実している点にあると思います。沢山の貴重な経験ができており、私のように、留学が初めての方にお勧めできるプログラムです。一か月という短い期間なので、英語の運用能力が劇的に向上したとは言えませんが、確実に勉強のモチベーション向上に繋がっていると感じています。ホームステイを通して異なる文化を身近に感じ、価値観が広がって、精神的にも成長できました。参加して良かったです！

※先輩体験記より抜粋

過年度派遣学生からのコメント

- ・長期留学を考えている人にも、少し留学してみたい人にも、良いプログラムだと思いました。
- ・普段、日本で生活していると、体験できないようなことや出会えない人々に出会うことができ、とても貴重な経験になりました。英語力の向上だけでなく、さまざまな面で成長できてよかったなと思います。
- ・初めての留学でも楽しく、多くのことを学べたので、少しでも興味が湧いたら、ぜひ参加してください。
- ・思い切ってこの留学プログラムに参加して、とてもよかったと思う。留学に行ったからこそ、ニュージーランドでの生活はもちろん、当たり前だと感じていた日本での日常生活が当たり前ではないこと、普段気にしていないところで、さまざまな人に支えられて生活していることを改めて感じる事ができた。
- ・最初は困ったこともあったけど、仲間がいるから相談できたのが大きかったと思う。個人で留学していたら、孤独感でどうにかなっていたと思うが、団体に参加できたのが一番良かった。



韓国コース〈国立昌原大学〉

プログラムの流れ

	項目	内容
事前講義	事前講義	・プログラム説明 ・韓国の言語、文化 ・日韓経済関係 ・韓国の企業
	朝鮮語講義	韓国経済を学ぶために必要な朝鮮語を学ぶ
海外派遣	経営学部入門科目	・韓国経済入門 ・韓国ビジネス入門
	・フィールドワーク ・歴史文化社会	テコンドーの参加、伝統的なデザート作り、韓服の着用体験、釜山のビーチサイド訪問
	現地企業訪問	韓国企業2社程度（調整中）
	学生交流	派遣先大学の学生との交流会（パディ制度あり）
事後講義	事後講義	韓国の経済・経営に関する学習成果の個人報告

※上記内容は、開講年度により変更となる場合があります。



韓国・昌原

■昌原市の特徴：

昌原市は韓国の南部に位置し、文化と産業の中心都市。重工業が盛んな一方で、美しい海岸線など、自然の観光地も豊富にある。2010年に馬山市、鎮海市と合併し、人口100万人を超える大都市となった。

国立昌原大学

■創立：1969年

■学生数：約9,150人

■大学の特徴：

国立昌原大学は経営学部をはじめ、8つの学部と58の学科、そして7つの大学院研究科を設置しており、約9,150名の学生が在籍している。そのうち留学生は260名である。工学、人文学、社会科学、自然科学など幅広い学部・学科を有し、国際化を進め留学生プログラムや国際交流を積極的に推進している。



週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	朝鮮語	朝鮮語	朝鮮語	朝鮮語	朝鮮語	現地学生との交流 及び自由時間
午後	韓国経済・経営 (講義)	企業訪問	韓国文化体験	韓国経済・経営 (講義)	フィールドワーク	
放課後	現地学生との交流 及び自由時間	現地学生との交流 及び自由時間	現地学生との交流 及び自由時間	現地学生との交流 及び自由時間	現地学生との交流 及び自由時間	

※上記内容は、開講年度により変更となる場合があります。

(1) BSA I Plusの特徴

BSA I Plusは、カリフォルニア大学デービス校のDivision of Continuing and Professional Education-Internationalが実施するEntrepreneurship and International Business Program for Ritsumeikan Universityに参加し、ビジネス英語力の向上と多国籍企業で働く際のスキルの向上、および革新的な企業の取り組みなどを少人数クラスで学ぶことのできるプログラムです。立命館大学以外の日本の大学をはじめ、世界各国の学生が参加するプログラムであり、プログラムを通じて国際交流や異文化理解も経験できます（各国の参加大学は年度によって異なり、本学のみ参加となる場合もあります）。

(2) 応募資格

- ①経営学部生であること。*大学院生は対象外
- ②応募時に以下の語学基準のいずれかを満たしていること。
語学基準：TOEFL iBT®テスト3.5/TOEFL ITP®テスト480点/
TOEIC®L&RテストもしくはTOEIC®L&R IPテスト550点以上
- ③2回生以上の応募者は累積もしくは直近セメスターのGPAが2.5以上であること。
- ④本プログラムの趣旨・目的を理解し、事前講義・現地学習・事後講義のすべてに参加可能であること。
- ⑤派遣先大学での学習および課外活動について、多大な関心と意欲を持っていること。

※派遣者の決定にあたっては、上記応募資格を満たした応募者に対し、書類審査および面接審査を実施します。

(3) 派遣先

コース	派遣先大学	所在地	実施期間	募集人数	宿泊施設
アメリカ	カリフォルニア大学デービス校	アメリカ・カリフォルニア州デービス市	8月上旬～9月上旬 (約1ヶ月間)	20名	学生寮

(4) 参加費用・奨学金

①参加費用

参加費用は全額個人負担となります。実習費、課外活動費、宿泊費、食費（別途実費負担の場合あり）、渡航費などが含まれます。物価の上昇、為替相場の変動によって納付する参加費用が変動します。

■過年度実績

※奨学金支給額は含んでいません。

※参加人数や情勢による費用の変動があるため、正式な参加費用は派遣者決定後（7月初旬頃）に通知します。

コース	2025年度
BSA I Plus	72万9千円

■参加費用（経営学部への納付金額）に含まれるもの

- ・航空券代
- ・実習費および課外活動費
- ・教材費
- ・滞在費用（学生寮）
- ・受入大学の施設使用料（インターネット、図書館など）
- ・空港から現地大学までの往復送迎費用
- ・朝、昼、夕の食費
- ・現地大学の指定保険加入費用
- ・危機管理サービス加入費用

■参加費用に含まれないもの

- ・現地での交通費
- ・自転車レンタル費用、クリーニング代、通信費、土産代などの雑費
- ・ESTA申請費用
- ・オプションフィールドトリップにかかる費用（現地申込）
- ・海外旅行保険加入費用（大学指定の保険加入が必須です）

②奨学金

立命館大学では、留学プログラムに参加する学生に「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」を支給しています。この奨学金は、参加費用の一部を補助することにより、プログラムへの参加・修了を奨励する制度です。なお、奨学金の支給額は今後変更になる可能性がありますので、あくまで参考としてください。

※該当する奨学金は参加費用の一部として充当し、参加費用請求時に以下の金額を差し引いて通知します。

コース	奨学金支給金額（予定）
BSA I Plus	10万円

(5) 受講登録

- ・受講登録は、経営学部事務室にて一括登録を行います。皆さんが登録する必要はありません。
- ・年間受講登録制限単位数の制限外で登録を行います。
- ・受講登録後の辞退は、成績評価がF評価となります。

(6) 事前講義・事後講義

事前講義・事後講義共に、プログラムの一部として単位授与の対象となり、担当教員の許可を得ずに事前講義または事後講義を1回でも欠席すると、派遣先大学での留学参加および単位を認めない場合がありますので、必ず出席してください。

- ・事前講義：95分×4回程度（6月～7月）
- ・事後講義：95分×1回程度（10月～12月）

※その他関連ガイダンス（派遣者ガイダンス、保健センターガイダンス、危機管理ガイダンス）にも必ず出席してください。

(7) 単位授与と成績評価

- ・成績評価：A+、A、B、C、F評価のいずれかとなります。

■このプログラムは下表の科目で単位授与されます。

（※入学年度・適用カリキュラムによって授与分野・科目名が異なります。十分に確認して履修計画を立ててください。）

2022年度以降入学者

		カリフォルニア大学デービス校
国際経営・経営学科(両学科)	分野	専門科目 (自学科・自コース以外)
	科目名	外国留学特修科目
	単位数	6単位
	合計	6単位

※2021年度以前入学生は、学修カリキュラムが異なるため、経営学部事務室に問い合わせください。

(8) プログラム紹介・学生体験記



アメリカ・カリフォルニア州

■デービス市の特徴：

デービス市は、アメリカ合衆国カリフォルニア州の中央部南に位置する人口6.5万人の都市である。自転車道が整備されており緑豊かな都市で、また、全米のなかで教育程度の高い都市として知られている。

カリフォルニア大学デービス校

■創立：1905年

■学生数：約33,000人

■大学の特徴：

UC Davisは、カリフォルニア州の州都であるサクラメントと高度技術イノベーションの発祥地であるサンノゼの間に位置し、エネルギー、バイオテック、バイオ医療の基礎から応用分野に及ぶ研究で広く知られている大学です。大学周辺には、新興企業から国際的な大企業まで多くの企業が存在しており、グローバルビジネスの仕組みを学ぶのに非常に適しています。また、アメリカ国内におけるクリーンテクノロジーの4大都市のうちの3都市（サンフランシスコ、サンノゼ/シリコンバレー、サクラメント）に位置し、起業家精神の中心となっています。

プログラム構成

科目	
1	Intercultural Business Research Project
	<ul style="list-style-type: none"> ・英語での効果的なオーラル&ビジュアルプレゼンテーションスキルを学ぶ ・コミュニケーション及びインタビュースキルの向上 ・データの調査、収集、整理 ・協調性とリーダーシップのスキル強化
2	Hot Topics in Global Business
	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルビジネスをテーマとする記事、レクチャー、視聴覚教材を用いて論理的かつ批評的な考え方を養う ・異文化マネジメントへの理解を深める ・ビジネス界の未来を変えるイノベーション・サステナビリティ・アントレプレナーシップの最近のアプローチを学ぶ
3	Introduction to Entrepreneurship in the U.S.
	<ul style="list-style-type: none"> ・研究開発の初期段階とベータテストについて学ぶ ・ビジネスとマーケットトレンド、データとレポートなどを分析するスキルを身につける ・様々なビジネス状況を評価する ・推奨されるアクションについて議論する ・実践的なロールプレイ ・仕事を探す際の柔軟性について考える
4	Problem-Solving through Design Thinking
	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトスキルを通して問題を構成し、複雑な問題に取り組む ・非線形デザイン思考を理解する ・インタラクティブなプロセスを通してチームワークとリーダーシップを育む ・人間のニーズに応えるクリエイティブな解決策を見出す
5	Guest Lectures and Site-Visits
	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週、地元企業（大企業および新興企業）を訪問する、もしくはゲストスピーカーによる講義を受ける ・UCデービスの教授陣や地元企業の専門家による講義を通し、ビジネス慣行におけるイノベーションと持続可能性、起業家精神に関する知識を深める

※上記内容は、開講年度により変更となる場合があります。



週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	授業	授業	授業	授業	ゲストスピーキング	観光
午後	カフェ	日本語・英語交流サークル	学校内散策（プール、ダーツなど）	ダウンタウン散策	ショッピング	
夜	ジム・課題	ジム・課題	ジム・課題	ジム・課題	学校内散策	課題

※上記内容は、開講年度により変更となる場合があります。

留学体験記



国際経営学科 1回生 2025年度派遣者
留学先：カリフォルニア大学デービス校
留学期間：約1ヶ月間

BSA I Plusに挑戦したきっかけ

2025年大学に入学した私は新しいことに挑戦したいと考えるようになりました。そんな中、BSAプログラムを知り、説明会に参加しました。先輩方の留学体験談を聞く中で、海外の大学で学び、生活する姿に強く惹かれ、私も一歩踏み出してみたいという思いが芽生え、すぐに参加を決意しました。面接や事前講義を経て、出発までの間は英語で日記を書くなど、自分なりにできる準備を重ねて渡航に臨みました。留学前までは、英語で生活することや授業についていけるのかという不安も大きく、正直なところ自信はありませんでしたが、それ以上に現地での生活への期待が膨らみ、ワクワクと緊張が入り混じった状態で出発の日を迎えました。渡航先はカリフォルニア大学デービス校です。

現地での生活と学び

現地での生活には観光、日常生活、授業といったさまざまな場面があり、それぞれに異なる学びがありました。観光は主に週末に行き、ロサンゼルス、サクラメント、サンフランシスコなど、色々な都市を訪れました。どの街も日本ではなかなか見られない規模の大きさと、街並みの美しさや広大な空に心を打たれました。特に、天気の良い日が多く、いつも心地よく過ごせたことが印象に残っています。ロサンゼルスでは、ドジャーススタジアムで大谷翔平選手の試合を観戦する機会もあり、国や言語を超えて活躍する姿の力強さを実感しました。実際に現地の街を歩き、文化を自分の目で見て体験することで、もっとこの場所で生活してみたい、もっと英語で話せるようになりたいという思いが強くなりました。また、日本ではあまりアウトドアなタイプではなかった私が、毎週末外に出て観光をしていたことにも、自分自身驚かされました。

日常生活では、平日は午前中に授業を受け、午後はそれぞれジムに行ったり、課題に取り組んだり、キャンパス内や周辺を散策したりして過ごしました。食事は三食すべて食堂でとることができ、現地の学生と同じ環境で生活できたことは大きな魅力でした。特に印象に残っているのは、食堂

で現地の大学生に声をかけ、一緒に食事をした経験です。最初はプログラムの仲間と声をかけていましたが、次第に一人でも話しかけられるようになり、恋愛の話をしたり、出身地について教えてもらったりと、会話の幅も広がっていきました。英語が流暢に話せたわけではありませんが、それでも交流を深めることができたのは、現地の学生がとても親切に接してくれたからだと思っています。放課後には、現地ですぐできた友人とアサイーボウルを食べに行ったり、ジムやプールに行ったりと、充実した毎日を送ることができました。

授業はすべて英語で行われ、初めは聞き取ることが難しく、大変だと感じる場面も多々ありましたが、分からない部分はクラスメイトに聞いたり、調べたりしながら乗り越えることができました。日本の授業とは異なり、ディベートやプレゼンテーション、グループワークが中心で、常に自分で考え、発言することが求められました。また、「英語でなければもっと伝えられるのに」と感じる場面が多く、英語力をさらに伸ばしたいという意欲につながりました。そして、内気だった自分が日本に帰ってから積極的に発言できそうだと感じられるようになったことも、大きな変化です。

留学を通して得たもの

BSA I Plusに参加したことで、英語力が劇的に伸びたとは言えないかもしれませんが、渡航前と比べて確実に成長を実感しています。そして何より、行動力が身についたことが、この留学の最大の成果だと感じています。これまで、やりたいと思ってもなかなか行動に移せなかった私が、今では思い立ったことをすぐに実行できるようになりました。BSA I Plusへの参加を迷っている方は、ぜひ一度説明会やガイダンスに足を運んでみてください。この留学は、きっと自分自身を大きく成長させてくれる経験になると思います。

※先輩体験記より抜粋

過年度派遣学生からのコメント

- ・ 大学での授業に支障をきたすことなく、夏休みを利用して行くことができる留学プログラムです。英語力だけでなくグローバルなビジネスを学ぶことができます。海外の文化に触れて、日本ではできない貴重な経験をしてみませんか。
- ・ 授業が午前中だけで、昼からは自分で考えて行動できる時間が十分にあり、充実した留学にするかは自分次第でしたが、それがより自分の行動力を高めることができたので良かったです。



(1) BSA II・IVの特徴

BSA IIおよびIVは、2回生以降に参加できる海外留学プログラムです。1～3セメスターの期間、ビジネススクールや経営学部を有する海外の大学で経営学に関する専門科目を他言語で受講し、ビジネスで使える高度なコミュニケーション能力や、国際経営の専門知識の修得を目指します。

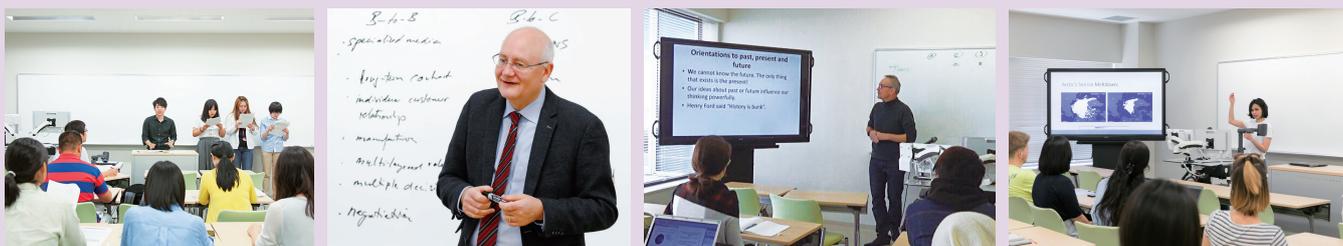
共通	<ul style="list-style-type: none"> 経営系の大学やビジネススクールで、各自の経営学の専門分野に応じた正規留学科目を受講することができます。 原則として、派遣先大学では英語で開講される授業を受講します。派遣先大学によってはその派遣先国の言語で開講される授業も受講できます。また、各自の語学レベルによっても、派遣先国の言語で開講される授業の受講が許可される場合があります。 	BSA II	1セメスターの交換型留学
		BSA IV	2セメスター、3セメスターの交換型／派遣型留学

(2) 応募資格

- ①原則として、応募時に経営学部1～3回生であること。
 - ・大学院生は対象外。BSAIV1.5年プログラムへの応募者は1回生であることが望ましい。
 - ・対象回生については、別途、募集要項を参照のこと。
 - ・特に3回生以上の応募については、事前に必ず経営学部事務室国際担当に相談の上、応募準備をすすめること。
- ②累積もしくは直近セメスターのGPAが2.75～3.0以上であること。
- ③原則として、応募時に語学要件を満たしていること。
 - ※詳細は「(3) 派遣先一覧」の語学基準欄を参照してください。
- ④本プログラムの趣旨・目的を理解し、留学前、留学後に行われるガイダンスやオリエンテーション、現地での学習のすべてに参加可能であること。
- ⑤派遣先の留学プログラムについて、多大な関心と意欲を持っていること。
- ⑥留学直前のセメスターの学籍状態が「在学」であること。

※派遣予定者の決定にあたっては、上記応募資格を満たした応募者に対し、書類審査を実施します。

経営学部では、中・長期留学予定学生が留学派遣先大学でより充実した学習ができるよう、留学前もしくは留学後の教育として、英語および中国語による「プロジェクト研究 (GBLプログラム型)」を開講しています。GBLとはGlobal Business Leadershipの略称で、「プロジェクト研究 (GBLプログラム型)」とはグローバルな視点に立って世界を舞台に活躍するビジネスリーダーの育成を目標に設計されている科目です。BSAプログラムおよび全学留学プログラムで海外に留学に行く学生は、プロジェクト研究 (GBLプログラム型) をぜひ受講してください。



FAQ

Q BSAプログラムと全学募集プログラム (国際教育センター主管の留学プログラム) はどう違いますか。

A BSAプログラムでは、留学先でも専門科目を履修できることが大きな特長です。海外で修得した単位の多くは、帰国後に専門科目として認定される傾向があります。そのため、留学をしても4年間での卒業が十分可能です。

Q BSAプログラムと全学募集プログラム (国際教育センター主管の留学プログラム) を併願することはできますか。

A 同じ期間に実施される留学プログラムの選考に応募・合格している場合は、同期間のプログラム (全学募集プログラム・BSAプログラムの別を問わず) に応募できません。同じ期間に実施されるプログラムへの応募を希望する場合は、応募・合格しているプログラムの辞退を申し出た後で、応募してください。

(3) 派遣先一覧

国	派遣先大学名 (所在地)	派遣時期 (※1)		派遣 人数 (※2)	GPA	語学基準 (※3)
		II	IV			
中国	大連外国語大学 (大連)	〈夏出発〉 8月下旬～ 翌年1月中旬	〈夏出発〉 8月下旬～ 翌年7月中旬	3名 程度	2.75 以上	派遣までにHSK4級 (180点以上) または中国語検定3級を 取得することが望ましい
		〈春出発〉 2月下旬～ 7月中旬	〈春出発〉 2月下旬～ 翌年1月中旬			
	対外経済貿易大学 (北京)	〈夏出発〉 8月下旬～ 翌年1月中旬	〈夏出発〉 8月下旬～ 翌年7月中旬	2名 程度 (※4)	2.75 以上	【中国語基準での応募】 II：HSK5級 (180点以上) IV：派遣までにHSK4級 (180点以上) を 取得することが望ましい または 【英語基準での応募】 TOEFL iBT®テスト4以上 または IELTS 5.5以上
		〈春出発〉 2月下旬～ 7月中旬	〈春出発1.5年〉 2月下旬～ 翌年7月中旬			
カナダ	カモーションカレッジ (ビクトリア)	〈夏出発〉 8月下旬～ 12月下旬	〈夏出発〉 8月下旬～ 翌年4月下旬	2名 程度	3.0 以上	TOEFL iBT®テスト4以上 (各項目19点以上) または IELTS 6.0以上 (各項目5.5以上)
ニュージー ランド	オークランド工科大学 (オークランド)	〈春出発〉 2月中旬～ 6月下旬	IVなし	4名 程度	3.0 以上	TOEFL iBT®テスト4以上 または IELTS 6.0以上 (各項目5.5以上)
タイ	タマサート大学 ビジネススクール (バンコク)	〈夏出発〉 8月上旬～ 12月下旬	〈夏出発〉 8月上旬～ 翌年5月下旬	3名 程度	3.0 以上	TOEFL iBT®テスト4以上 または IELTS 6.0以上
スウェーデン	ストックホルム大学 ビジネススクール (ストックホルム)	〈夏出発〉 8月下旬～ 翌年1月中旬	〈夏出発〉 8月下旬～ 翌年6月上旬	3名 程度	2.75 以上	TOEFL iBT®テスト4以上 または IELTS 6.0以上
フランス	ストラスブール大学 EMストラスブール ビジネススクール (ストラスブール)	〈夏出発〉 8月下旬～ 12月下旬	〈夏出発〉 8月下旬～ 翌年5月上旬	3名 程度	2.75 以上	TOEFL iBT®テスト4以上 または IELTS 5.5以上
ドイツ	プレーメン州立 経済工科大学 (プレーメン)	〈夏出発〉 9月下旬～ 翌年3月上旬	〈夏出発〉 9月下旬～ 翌年7月下旬	3名 程度	3.0 以上	TOEFL iBT®テスト4以上 または IELTS 5.5以上
	アーヘン応用科学大学 (アーヘン)	〈夏出発〉 9月上旬～ 翌年2月下旬 夏期集中ドイツ語コース含む	〈夏出発〉 9月上旬～ 翌年7月下旬 夏期集中ドイツ語コース含む	3名 程度	3.0 以上	IELTS 5.5以上
スペイン	アルカラ大学 (マドリッド)	〈夏出発〉 8月下旬～ 翌年1月下旬	〈夏出発〉 8月下旬～ 翌年6月上旬	3名 程度	2.75 以上	以下の【英語】と【スペイン語】 基準を両方、満たすこと 【英語】 TOEFL iBT®テスト4以上 またはIELTS 5.5以上 【スペイン語】 CEFR B2レベル
イギリス	ランカシャー大学 (プレストン)	〈夏出発〉 9月中旬～ 翌年1月下旬	〈夏出発〉 9月中旬～ 翌年5月下旬	2名 程度	2.75 以上	IELTS 6.0以上 (各項目5.5以上)
【派遣型留学】 イギリス	レディング大学 (レディング)	IIなし	〈夏出発〉 9月上旬～ 翌年4月上旬	10名 程度	2.75 以上	IELTS for UKVI 5.0以上

(※1) 派遣時期は若干ずれることがあります。

(※2) BSAIVで学生を派遣する際の派遣人数を記載しています。オークランド工科大学のみ、BSA IIで学生を派遣する際の派遣人数を記載しています。

(※3) 語学基準は変更になる場合があります。申し込み前に必ず募集要項を確認してください。ただし、母国語を中国語とする方は中国語基準での応募はできません。

(※4) 中国・対外経済貿易大学の春出発1.5年の派遣人数は1名です。

FAQ

Q 自分の語学力で海外の大学の講義についていけるか不安ですが、大丈夫でしょうか。

A 出願要件をクリアしているのであれば、語学力について必要以上に心配することはありません。ただし、あくまでも上記基準はプログラム応募にあたっての基準スコアです。派遣先への申請時や派遣先での科目履修の際、上記応募時の基準以上の語学力を要求している派遣先もあります。上記応募基準を満たし、派遣予定者に内定した後も語学力の向上を目指してください。また、留学開始直後は、慣れない授業スタイルや大量の課題に苦しむ学生が多いのも事実です。その際には、積極的に留学先の先生や職員と相談することをお勧めします。受身にならずに自ら解決策を探そうとすることが大切です。試行錯誤して努力することを通して、自分に合う方法が見つかるはず。また、英語以外の言語を公用語とする大学への留学を希望する場合は、英語だけでなく、派遣までに現地公用語の学習にも、ぜひチャレンジしてください。派遣先の生活環境によっては公用語を一定程度習得しておいた方が、生活面での心配が軽減されます。

(4) 費用・奨学金

①費用

交換型留学の場合には、学費は本学と派遣先大学との間で相殺となるため、留学先大学で学費を納入する必要はありません。

■主な費用

- ・ 包括海外旅行保険費用（大学指定の保険加入が必須です）
- ・ 危機管理サービス加入費用
- ・ ビザ取得のためにかかる費用（国・地域によって費用が異なるので事前に確認してください）
- ・ 渡航費（航空券）
- ・ 現地出入国税、空港税、航空保険料
- ・ 宿泊費（寮・アパート等）および申請費
- ・ 現地での交通費
- ・ 教材費等
- ・ 生活費（食費・光熱費等）
- ・ クリーニング代、通信費、土産代などの雑費
- ・ 娯楽費
- ・ 医療費（特に現地での歯の治療費用は海外旅行保険の適応外となり、日本の数十倍になる場合があります）

■注意点

- ・ 滞在先の手配は派遣者自身で行います。派遣先大学の事情により、学生寮に必ずしも入れるとは限りません。（滞在先が保証されたプログラムではありません。）
- ・ 費用は物価の上昇、為替相場や情勢によって変動しますので、あくまでも参考としてください。
- ・ レディング大学は「派遣型留学」のため、本学に所定の授業料を納めたうえで、レディング大学の授業料も納入する必要があります。

〈主な費用の過年度実績値〉※個人差があります。生活費に娯楽費は含みません。

派遣先大学	費用例（過年度参考）							（単位：円）
	年度	期間	留学費用 総額	渡航費	住居費	食費	保険料 (現地)	
大連外国語大学	2025	Ⅱ (1セメ)	54万	7万	11万	8万	7千	
対外経済貿易大学	2023	Ⅳ (2セメ)	65万	5万	30万	30万	0	
カモーンカレッジ	2024	Ⅳ (2セメ)	170万	31万	66万	32万	0	
オークランド工科大学	2023	Ⅳ (2セメ)	200万	20万	110万	60万	7万	
タマサート大学 ビジネススクール	2024	Ⅱ (1セメ)	80万	10万	25万	15万	0	
ストックホルム大学 ビジネススクール	2024	Ⅱ (1セメ)	130万	34万	53万	34万	0	
ストラスブール大学 EMストラスブール ビジネススクール	2025	Ⅱ (1セメ)	150万	25万	24万	12万	5千	
ブレーメン州立経済工科大学	2024	Ⅳ (2セメ)	230万	23万	60万	48万	20万	
アーヘン応用科学大学	2024	Ⅱ (1セメ)	140万	22万	32万	12万	14万	
アルカラ大学	2023	Ⅱ (1セメ)	105万	25万	60万	10万	10万	
ランカシャー大学	2024	Ⅳ (2セメ)	210万	40万	80万	50万	0	
レディング大学	2018年より派遣者がいないため不明							

②奨学金

■立命館大学海外留学チャレンジ奨学金

原則として派遣者全員に「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」が支給されます。なお、奨学金は派遣者の渡航を確認後、派遣中に派遣者本人名義の口座に支給されます。

プログラム名	派遣先大学	奨学金金額
BSA II	大連外国語大学	15万円
	対外経済貿易大学	
	カモーションカレッジ	25万円
	オークランド工科大学	
	タマサート大学ビジネススクール	
	ストックホルム大学ビジネススクール	
	ストラスブール大学 EMストラスブールビジネススクール	
	ブレーメン州立経済工科大学	
	アーヘン応用科学大学	
	アルカラ大学	
	ランカシャー大学	
BSAIV	大連外国語大学	20万円
	対外経済貿易大学	
	カモーションカレッジ	30万円
	タマサート大学ビジネススクール	
	ストックホルム大学ビジネススクール	
	ストラスブール大学 EMストラスブールビジネススクール	
	ブレーメン州立経済工科大学	
	アーヘン応用科学大学	
	アルカラ大学	
ランカシャー大学		
BSAIV 【派遣型留学】	レディング大学	30万円
BSAIV1.5年	対外経済貿易大学	35万円 (※ただし1年経過後に 別途審査あり)

※奨学金の金額は変更となる場合があります。

■立命館大学海外留学サポート奨学金

経済上の事由により、プログラムへの参加または参加継続が困難であることが見込まれる者に対し、参加費用の一部を補助することで、参加の支援を行うことを目的とする制度です。

海外留学サポート奨学金には、「予約採用型」「家計急変型」の2つのタイプがあり、いずれも要項に定められた家計基準を満たす場合に、奨学金選考の対象となります。支給額や申請・選考方法などの詳細は、以下を確認してください。

外国留学プログラムHP（奨学金ページ）

<https://secure.ritsumei.ac.jp/studyabroad/planning/scholarship/>



■JASSO（独立行政法人日本学生支援機構）海外留学支援制度

立命館大学から支給される奨学金とは別に、JASSO（独立行政法人日本学生支援機構）が所管する奨学金に採択された派遣国がある場合は、別途受給要件を告知した上で選考を行います。

※奨学金によっては併給できないものがあります。事前に経営学部事務室またはOIC国際教育センターに確認を行ってください。

■三島俊介奨学金（経営学部独自奨学金）

立命館大学経営学部三島俊介奨学金は、本学経営学部OB三島俊介様からのご寄付をもとに、国際的なステージで活躍する人材を育成することを目的として2025年度より新設された奨学金です。本奨学金はBSA II・IVの参加者を対象とし、申請手続きを行った場合、一人あたり20万円支給されます。詳細は派遣決定後、対象者にお知らせします。

(5) 学籍と受講登録

①学籍

BSA II・IVにて留学する際に、立命館大学での学籍が「在学」から「留学」に変更になる期間は、以下の通りです。

派遣先大学	出発	学籍上の留学期間		
		BSA II	BSAIV	BSAIV1.5年
大連外国語大学	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期	—
	春	春学期	春学期～秋学期	
対外経済貿易大学	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期	—
	春	春学期	春学期～秋学期	春学期～翌年度春学期
カモーンカレッジ	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期（※1）	—
オークランド工科大学	春	春学期	—	—
タマサート大学ビジネススクール	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期	—
ストックホルム大学ビジネススクール	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期	—
ストラスブール大学EMストラスブールビジネススクール	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期（※1）	—
ブレーメン州立経済工科大学	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期	—
アーヘン応用科学大学	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期	—
	春	春学期	—	
アルカラ大学	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期	—
ランカシャー大学	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期	—
レディング大学	夏	—	秋学期～翌年度春学期（※2）	—

(※1) BSAIV/カモーンカレッジ・ストラスブール大学EMストラスブールビジネススクール派遣者には、以下B.の受講登録パターンが適用される可能性があります。

(※2) BSAIV/レディング大学派遣者には、以下A.もしくはB.の受講登録パターンが適用される可能性があります。

②受講登録

■春学期に帰国する学生は、以下の点に留意してください。

留学から帰国後、「留学終了届」が受理されたタイミングで受講登録できる科目が変わります。

A.【春学期授業開始日までに留学終了届が受理された派遣者】

在学生と同じ日程で受講登録をしてください。

B.【4月30日以前に留学終了届が受理された派遣者】

留学終了届の受理が立命館大学春学期授業開始日を過ぎる場合は、受講可能な科目に制限があるため、注意してください。

→春学期科目・通年科目のうち、教養科目・外国語科目の受講は不可。専門科目のうち一定の科目を除き受講可能。受講可能科目の詳細及び登録方法は、登録時期に別途案内があります。また、欠席した授業については、適宜課題等が提示されます（予定）。

C.【5月1日以降に留学終了届が受理された派遣者】

5月1日以降に留学終了届が受理された場合は秋学期からの復学となるので、秋学期以降に受講が可能となります。

※ただし、夏集中科目およびクォーター的運用をしている科目等については、「留学終了届」が当該科目の授業開始日までに受理され、実質的に受講可能な場合は受講が認められます。

※以下の科目については授業初回までに留学終了届が受理されていれば受講可能です。

春集中科目・夏集中科目（他学部科目を含む）・通年科目（一部）

■注意点

・時間割及び「履修・登録の手引き」は、RITSUMEIKAN STUDENT PORTALに掲載されます。必ず各自で確認をし、必要な手続きをしてください。

・登録方法、期間、締切り時間は全て日本で登録する学生と同じ条件であり、かつ日本時間にて管理されます。

・「留学終了届」は留学から帰国後に提出が必要です。提出後、受理された場合に上記のとおり受講登録が可能となります。

(6) 単位認定と成績評価

BSA II・IVの留学先で修得した単位の認定は、本人による単位認定申請を受け、学部の履修規程等に従い、派遣先大学で受講した科目の内容・レベル、授業時間数等に基づき行われます。単位認定数や単位認定分野・科目については派遣先大学や、各自の履修状況により異なりますので、ご注意ください。

- ・認定された単位の成績評価欄には「T」が記載されます。
- ・本学の単位として認定される単位数の上限は、60単位です。
※大学コンソーシアム等で受講科目の単位認定がすでに行われている場合は、その認定済み単位数を前述した上限単位数から差し引いた単位数までしか、新たに認定されませんのでご了承ください。
- ・単位認定に関わる申請書類および派遣先大学の学年暦と成績証明書、受講した科目のシラバス（原文および和訳）等の必要書類を各自で準備してください。

留学前に学部事務室で履修科目や単位認定について相談の上、留学前・留学中・帰国後、それぞれの学習計画を立てておく必要があります。

■過年度派遣学生の単位認定実績（参考）

派遣先大学	BSA II	BSAIV
カモーンカレッジ	実績なし	15～20単位
オークランド工科大学	実績なし	15～20単位（※）
タマサート大学ビジネススクール	10～15単位	実績なし
ストックホルム大学ビジネススクール	5～10単位	6～15単位
ストラスブール大学 EMストラスブールビジネススクール	5～10単位	10～20単位
ブレーメン州立経済工科大学	8～15単位	15～35単位
アーヘン応用科学大学	5～15単位	10～20単位
アルカラ大学	5～10単位	15～20単位
ランカシャー大学	実績なし	15～20単位
レディング大学	2018年度より派遣者がいないため不明	

- (★) 単位認定数や単位認定分野・科目については、派遣先大学や各自の履修状況により異なります。中国・大連外国語大学、対外経済貿易大学はカリキュラム変更等の事情により過年度実績と現況が大きく乖離しているため、掲載していません。興味のある方は経営学部事務室にお問い合わせください。
- (※) オークランド工科大学はBSA IIのみの派遣となります（現在BSAIVでの派遣はありません）。



FAQ

Q 1セメスター以上の留学をする場合、専門演習（ゼミ）の履修は可能ですか。

A BSA（正規留学プログラム）に参加する場合、留学期間中の「専門演習Ⅰ～Ⅲ」の受講は免除されます。留学帰国後は、原則として留学前と同じクラスに所属し継続履修をする事ができます。帰国後に所定の申請書に必要事項を記入のうえ、OIC学びステーションへ提出してください。また、専門演習の募集・選考期間に留学している場合は、留学中に応募が必要です。面接等が必要な場合があるので、各担当教員の指示に従ってください。

Q 派遣先大学で履修するコースや科目を知りたいのですが、どのように確認できますか。

A 経営学部の協定校の多くは、留学生のためのホームページを開設しています。ホームページ上で、留学生が受講できるコースを参照してください。また、経営学部事務室では、過年度の派遣学生が受講していた科目リストを管理しています。留学相談の際に、参考にしてください。

(7) 各派遣先大学紹介・学生体験記



国・都市：中国・大連市

中国の東海岸に位置し、中国東北遼東半島の最南端にある。緯度は日本の仙台とほぼ同じ。中国の重要な港、貿易、工業、観光の都市である。

■創立：1964年

■学生数：約15,000人

■大学の特徴：

- ・中国東北地方唯一の外国語大学。漢学院、日本語学院などがあり、本校、分校、研究所など20ヶ所以上の施設を有しています。
- ・漢学院は中国で最も早く中国語言語本科を設けた学校の一つであり、設立20年で30ヶ国から長期留学生約10,000人、短期留学生約4,000人を受け入れています。
- ・漢学院には、中国文化と国際経済貿易の二つのコースが設けられており、中国文化コースで短期間に中国語のレベルを向上させることも可能です。
- ・2013年5月より大連外国語学院から大連外国語大学へ改名されました。

大連外国語大学

過年度派遣学生体験記
(2025年度夏期 BSA II)

なぜ留学へ

私は中学生の頃に台湾で過ごした経験があり、その時に少し中国語を学んでいたのがより上達させたいと思い、中国への留学を決めました。

どんな大学

大連外国語大学に来て1番初めに驚いたことはキャンパスの広さです。図書館や食堂はもちろんのこと、スーパーや通信キャリアの店舗など生活に必要なお店から、美容院やネイルサロン、チェーンのドリンクスタンドまであり、正直学校から出なくても十分なほどの設備が整っていました。また、キャンパス内に寮があるため授業に行くのに徒歩10分ほどでとても便利でした。

授業について

授業は、10～20人の少人数で行われ、10段階ほどのレベル分けがあるので、自分に合ったところで授業を受けることができます。最初はすべて中国語で理解できるか不安を感じていましたが、私たちが分かる単語でゆっくり話していただき、複雑な文法の解説でも理解することができました。授業は基本午前中のみだったので、午後や土日など勉強時間も十分確保できました。

学校行事

この大学では行事が多く行われており、私は留学生文化祭や江西省の九江学院との交流会に参加しました。留学生文化祭では、日本のブースでチョコバナナとぜんざいを販売して、たくさんの他国の留学生や中国人学生に日本の文化を知ってもらえる良い機会になったと思います。私自身も今まで全然知らなかった国の料理や文化を知ることができ、良い経験になりました。

休日の過ごし方

休日には大連市内に出かけたり、ルームメイトのベトナム人の学生たちとその友達の中国人の学生たちとご飯を食べたり、カードゲームなどをして過ごしました。ベトナム料理や火鍋を振舞ってもらったので、私たちはお好み焼きを振舞いました。おいしいと食べてくれたのが嬉しかったです。

留学先としての魅力

中国で生活してみて、中国の人々は想像していた以上に温かいと感じました。また、日本から来たと話すと日本の好きな食べ物や場所を挙げてくれて、実際に日本を訪れたことがあるという人も少なくありませんでした。さらに、キャンパス内で日本語を話していると、日本語学科の学生が積極的に声をかけてくれ、自然と中国人の友人ができました。お互いに相手の言語を学んでいるため、教え合いながら成長できる環境が整っている点は、大連外国語大学で学ぶ大きな魅力の一つだと感じています。

※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	基礎	听力	基礎	基礎	口语	買い物など
午後	自習	自習	自習	自習	自習	

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。

对外経済貿易大学



過年度派遣学生体験記
(2023年度夏期 BSAIV)

偏見と事実の乖離

皆さんの中国に対する印象は、多くの場合、偏見だと知ってほしいです。例えば、安全面について、渡航前、周囲の人に心配されたし、私も安全かどうか知る術はなく、不安を抱えたまま向かいました。しかし、一年間生活をしてわかったことは、日本と同じように安全で安心して暮らせることです。また、北京では多くの中国人の方が日本人に対して差別的な行動をしていくことはほとんどなく、むしろ好感をもって迎え入れてくれました。大学内では日本人と交流したいという中国人の学生がたくさんいました。中国の人口は日本の約10倍、中国の面積は日本の約25倍で、普段目にするニュースはごく一部にしか過ぎないのです。そのため、少しでも中国に興味のある方は、実際に留学に行ってほしいなと思います。

多言語話者に

私の中国語は渡航時、日常会話が全くできなくて、英語も、留学生として最低レベルでした。しかし、入学手続きや、友達作りなど、多くの場面で会話を必要とし、私は自分の知っている限りの英語と中国語を駆使して何とか乗り越えました。授業では、中国語で中国語を勉強しながら、英語で専門的な授業を受けていました。さらに友人と中国語で話したり、ルームメイトと英語で会話をしたりと、日常的に二か国語を使うため、どちらの言語も徐々に上達していき、いつの間にか三か国語話者になりました。これは中国留学の最大の魅力だと思います。

国際色豊かな生活

大学に世界中の国から多種多様な人が生活しています。私はこんなにもたくさんの国の方と交流できるなんて想像していませんでした。中国語のクラス全体の国籍数が10か国以上で、私は毎週たくさんの国の友人と遊んでいました。そのため今では世界中のどこの大陸、どこの地域にも友人がいるという状況です。よって、世界中の人々とかかわりを持ってみたいと考える方にはとてもおすすめます。

大きな影響を与えた留学

この留学はこれまでの経験の中で一番自分の考え方に影響を与えました。留学中、さまざまな人の考え方や文化を吸収し、国際的な視点で物事を見ることができて、自分の考え方や生き方に対して、改めて考えさせられる機会となりました。中国留学への不安はとても大きいと思いますが、少しでも興味のある方は挑戦する勇氣を持ってほしいと思います。自分の価値観やこれからの人生にたくさん良い影響を与えてくれた中国留学に、私はとても感謝しています。

※先輩体験記より抜粋



国・都市：中国・北京市

北京市の特徴：

中国の首都、政治・文化の中心地である。
故宮、天壇など多数の世界遺産がある。

■創立：1951年

■学生数：約18,000人

■大学の特徴：

- ・北京市北東の市街区に位置し、近隣には中日友好病院や、日本でも馴染みの深いスーパー等の便利な施設があります。
- ・国際経済貿易の専門家養成の高等教育機関として、中国国家プロジェクト「211工程」が初めて承認した重点大学で経済、金融、管理等の分野において一流の水準を有する大学です。
- ・中国で最も早く国際学術交流を展開した大学であり、現在、世界の30ヶ国以上の国や地域にある100以上の大学や研究機構と協力交流関係を結んでいます。

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	中国語	中国語	中国語	中国語	中国語	自習、外出
午後	自習、外出	自習、外出	Introduction of Chinese Economy and Society	Introduction of Chinese Economy and Society	自習、外出	自習、外出
夜	ジム	バドミントン	ジム	ジム	食事会、パーティー等	バドミントン

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。

※派遣学生の語学レベルによっては、英語開講または中国語開講の専門科目を履修することが出来ます。

オークランド工科大学



国・都市：ニュージーランド・オークランド
オークランド市の特徴：

航空拠点であるオークランド空港とオセアニア地域有数の商業港湾であるオークランド港が所在している。海に面した地形から海上交通が栄え「City of Sails (帆の街)」の愛称で呼ばれる。

■創立：1989年

■学生数：25,000人

■大学の特徴：

- ・常に将来を見据えた大学といわれ、新しい考えに満ちた学習方法が取り入れられています。
- ・ビジネスの実社会で役立つスキル（特にコミュニケーション能力・プレゼン能力）を身につけられる実践的な授業を展開しています。
- ・教室には最新設備が取り揃えられており最大30名規模の授業を行う相互学習が可能な環境を提供しています。



過年度派遣学生体験記
(2023年度春期 BSAIV)

私は、高校生の時に参加した語学研修の経験から、大学では長期留学をすることを決意していました。そのため大学入学後は、TOEIC®テストやIELTSなど留学に必要な英語力の向上や必要な単位数の取得に努めました。大学での学びを深めていくうちに、経営学についても学びを進めていきたいと考え、留学先で経営学を学べるBSAのプログラムを利用し留学したいと思いました。ニュージーランドを選んだのは、英語圏であったことと自然が豊かで住みやすそうな点に魅力を感じたからです。

派遣が決まってから始まった留学準備はすごく大変でした。コロナ後、ニュージーランドが留学生を受け入れるのは初めてで、立命館大学からも派遣するのは2017年ぶりという事で、なかなかうまく進まないことも多くありました。1年間で申し込んだ留学申請が半年間で受理されたり、学生ビザは半年ずつしか取得することができなかったりと渡航する前からたくさんのトラブルが起きました。うまく進まない渡航準備にイライラし、落ち込んだ時もありましたが、ずっと待ち望んできたこの留学を嫌な気持ちでスタートしたくないと思い、気持ちを切り替えました。

現地では、国際寮に入寮し、4人のルームメイトと生活していました。到着した次の日から、サイクロンが直撃するという事ですぐにスーパーに買い出しに行ったことを覚えています。ルームメイトと初めて会った時は緊張していましたが、みんなフレンドリーで一安心しました。家族以外の人と住むという初めての経験で不安はありましたが、たくさん楽しい時間を共有することができ、寮での生活を選んでよかったと思っています。

オークランド工科大学は、世界中から多くの留学生が集まっており、授業ではクラスメイトと意見を交換したり、グループワークをしたりする時間が毎週あります。ただ授業に参加して講義を聴くだけでなく、各々が自分の意見を求められ、グループワークやプレゼンテーションを行うなど、学生の積極性が求められていました。常に自分はどう思っているのかを考える必要があるため、思考力が高まったと感じています。

この留学期間中は人生で最も自分と向き合った期間でした。自分が帰国した時どうなっていたいのか、何を経験し、吸収したいのか、どんな将来を歩んでいきたいのか、たくさん考えて悩みました。何が正解で何が間違っているのかわからない中で、1つ心にとめていた言葉があります。“Everything happens for a reason.” 起きる物事すべてに意味があるということです。成功も失敗もすべてに意味があり、そこから学び、成長することができます。この留学を通して経験したこと、感じたことは私の宝物であり、これからも忘れることなく、私の人生に影響を与え続けるでしょう。

※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	Economics and International Business (Lecture)	Consumer Behavior	買い物			掃除
午後	Sustainability Leadership			Ethics, Responsibility and Sustainability	Economics and International Business (Workshop)	買い物
夜	自習	自習	自習	自習	交流会	自習

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。

タマサート大学 ビジネススクール



国・都市：タイ・バンコク

バンコクの特徴：

王朝の歴史が深い都市でありタイ経済の中心でもある。

■創立：1934年

■学生数：15,000人

■大学の特徴：

- ・法律学校をその前身とした、タイ国内で2番目に古い名門大学。首相、大臣、議員、ビジネスにおける成功者など、タイだけではなく、国際的にも貢献している多くの人材を輩出しています。
- ・過去60年間徐々に拡大し社会科学、人文科学、自然科学どの領域にもコースが増設され現在では15の学部があります。
- ・バンコクの中心地にありチャオプラヤ川沿いのキャンパスで学びます。
- ・全ての科目が英語で開講されています。General Basic Courses、Business Core Coursesに加えて、3つの専門分野（Accounting、Finance、Marketing）から科目履修が可能です。タイ人の学生に加えて、世界中から集まる留学生と一緒に学びます。



過年度派遣学生体験記 (2024年度夏期 BSA II)

私にとって、今回のタマサート大学ビジネススクールでの留学は、多くの挑戦と発見に満ちた貴重な経験となりました。これまで欧米圏に住む機会はありませんでしたが、新たに東南アジアというゆかりの無い土地で生活する中で、文化、言語、生活様式の違いに直面し、最初は順応するのに四苦八苦しました。特に、日本との価値観や日常生活のギャップに驚き、戸惑うことも多々ありました。しかし、現地で知り合った友人や他の留学生たちの助けを受けながら新しい環境に少しずつ馴染むことができました。この過程で「異文化を受け入れ、適応する力」の大切さを実感しました。

また、他の留学生との英語力の差に愕然としたのも忘れられない出来事です。授業では、限られた時間で自身が考えるタイでの新事業を企画し、プレゼンを行う課題がありました。その中で、柔軟な発想力や相手を引き込むスピーキング力の差を痛感しました。特に、他の学生たちが条件を的確に捉え、説得力のある発表をする姿に最初は圧倒されましたが、回数を重ねる中で優秀な学生の方法を観察し、自分なりにアレンジして取り入れることで改善を図りました。その結果、留学生唯一のアジア人として存在感を発揮し、弱みを強みに変える成功体験を得ることができました。

さらに、東南アジア周辺国（カンボジア、ベトナム、ラオス）を旅する中で、現地の人々や同じく旅をしているバックパッカーと出会い、多くの刺激を受けました。東南アジアでは国ごとに文化的特徴が異なり、それぞれの国の歴史的、文化的背景が街並みや人々の雰囲気や生活スタイルに反映されていることを体感しました。また、旅の中で投資信託会社を経営している方や、ノマドワーカーとして場所を問わず働いているワイン販売のオーナー、医療後進国での支援を目指している他大学の学生など、さまざまな背景を持つ人々と話す機会に恵まれました。それぞれの話を聞く中で、自分のキャリアの可能性や人生の選択肢が広がり、今後の方向性を考える、良いきっかけとなりました。

この留学を通じて、異文化への適応力、困難を克服する力、そして将来を見据えた広い視野を身につけることができたと感じています。これらの経験は、これまでの生活だけでは得ることができなかった知見を私に与え、自分が海外進出する具体的な理想像を描くことができるようになりました。この貴重な経験を活かし、異なる価値観を受け入れながら柔軟に対応し、国際的な場で活躍できる人材へと成長していきたいと考えています。

※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	自習	自習	Business Opportunities in Thai		掃除	旅行
午後	Operations Management	Beginning Thai Language	Human Resource Management		買い物	
夜	自習	バスケサークル	自習		パーティー	

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。

ストックホルム大学 ビジネススクール



国・都市：スウェーデン・ストックホルム
ストックホルムの特徴：

ソニーモバイルコミュニケーションズ、
Saab、Volvo、IKEAなどの国際企業が多数
あることで知られている。

■創立：1878年

■学生数：50,000人

■大学の特徴：

- ・留学生約800人、教職員約6,000人を数えます。ストックホルム大学はスウェーデンの最大かつトップレベルの大学であり、ビジネススクールも、北欧ではトップレベルにランクされています。
- ・ビジネススクールには5,000人以上の学生が所属しています。なお授業は全て英語で行われます。
- ・ストックホルム大学ビジネススクールの卒業生の多くが様々な国際企業で働いています。親日感情が強く、日本人にとって大変生活しやすい国だと言われている。普段の生活でも英語はよく通じます。



過年度派遣学生体験記
(2024年度夏期 BSA II)

なぜ留学へ

幼い頃から海外で過ごし、異文化に興味を持っていた私は、留学は絶対に行きたいという気持ちで入学し、勉学に励んでいました。人とのつながりや組織について関心があり、マネジメントの授業があったストックホルム大学ビジネススクール(SBS)に留学すると決断しました。

勉強について

学習意欲が刺激される授業と同級生。SBSでは、様々な人種や年齢、背景を持っていた人がいて、みんなのストーリーを聞くことがとても楽しかったです。留学生が多かったが、流暢に英語を話す人が多かったため日本よりレベルが高かったです。授業や課題、テストなども自習に時間を割かないといけないため、図書館で勉強したり、友達と一緒に課題に取り組んだりすることが多かったです。授業数は少なく、自由時間がとても多かったので、大学を休まずに旅行に行きやすかったです。ここでタイムマネジメントの大切さを実感しました。どれだけ自習するか、どの頻度で遊びに行くのか、慎重に決めなければならない、そしてその判断の結果が成績と生活に対する満足度に現れるため、一人の時間を大切にすることが必要になりました。

一人暮らしの寮生活

私がいたStudent housingのLappisはすごく規模が広く、沢山の学生や社会人が住んでいました。宿は自分の部屋にシャワーやトイレは備わっていて、キッチンがフロア全員で共有でした。洗濯の部屋は予約制で、月に4回しか利用できないため、洗濯する日を決めておく必要がありました。

住み心地

みんな驚くほど英語が流暢だったので、お店や友達作りに困ることはなかったです。治安がとてもよく、安心して過ごすことができました。交通手段はバスと地下鉄で、とても便利でした。

留学とは自分について考える機会

この留学中、沢山の人の人生について語り、みんなが違う場所で育ち、違う時間軸で生きているのだと実感しました。日本で当たり前な生き方や価値観が海外では一つの選択肢でしかないと思いました。自分が常識の縛られていなかったらどんな生き方をしたいのか、効率の良さじゃなくって関心を追求するなら何をするかを考えた時に、普段だと視野に入れていなかった答えが次々と出てくるようになりました。それも留学中に異なる考えを持つ人と話し、理解し合い、自分にはないものを取り入れた結果です。この経験は自分が成長する上で必要なきっかけだったと思います。

※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	HRM Lecture	友人とランチ	HRM Lecture	自習	HRM Lecture	自習
午後	自習	自習	HRM Seminar	お出かけ	自習	お出かけ
夜	ディナー	ディナー	自習	お出かけ	パーティー	パーティー

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。

※上表は「Human Resource Management」のスケジュールです。

<参考>留学期間中の受講科目

1学期目 9月 Corporate Responsibility、10月 Brand Management and Sustainable Business Models、11月 Human Resource Management、12月 Performance Management
2学期目 1月 Global Markets、3月 Business, Politics and Culture、4月 Internet Marketing、5月 B2B Marketing and Sales

ストラスブール大学

EMストラスブールビジネススクール



国・都市：フランス・ストラスブール
ストラスブールの特徴：

ストラスブールはパリからTGVで約2時間、フランクフルト国際空港からバスで約2時間に位置する。

■創立：1631年

■学生数：30,000人

■大学の特徴：

- ・ストラスブール大学はその歴史を16世紀にさかのぼるフランス有数の大学で、法、政治、マーケティング、コミュニケーション、ジャーナリズム、科学技術の教育を提供しており、今日に至るまで様々な分野の人材を輩出してきました。
- ・ビジネススクールはEM (Ecole de Management) ストラスブールビジネススクールとして知られ、52もの国と協定を結び、学生の3分の1が世界各国からの留学生で形成されている国際色豊かな機関です。



過年度派遣学生体験記
(2025年度夏期 BSA II)

ビジネススクールでの授業

授業は30人前後の少人数で、様々な国から学生が集まっています、とても刺激的でした。彼らは英語力が高く、経営学に関する知識も豊富で、プレゼンやグループワークで、自分の英語力・知識の浅さを痛感したと同時に、学びへの意欲が一層高まりました。また、ワインに関する授業やフランス語の授業も受けることができ、幅広い学びを日々得ることができました。

日々の生活

学内や寮の近くにカフェテリアが3カ所もあり、安くておいしかったので毎日のように利用していました。また、スーパーでは、様々な種類の野菜やフルーツなどをリーズナブルな価格で買うことができ、毎日の食事には困らないです。ただ、スーパーなどでは、フランス語が全くできなくて、コミュニケーションをとるのは簡単ではなかったけれど、周りの人たちは本当に優しく対応してくれて、人の温かさを感じる経験となりました。

ストラスブールの魅力

ストラスブールは、パリからTGVで約2時間、ドイツとスイスの国境近くに位置しています。街の中心には、ストラスブール大聖堂があり、街の象徴として強く印象に残っています。クリスマスシーズンには、ヨーロッパ最大級ともいわれるクリスマスマーケットが開催され、街全体が華やかで活気にあふれていました。また、周辺国へのアクセスが非常に良く、留学中、ドイツやスイスをはじめ、スペインやイギリスなど様々な国を訪れることができました。ストラスブールとはまた異なった文化に触れて、ヨーロッパの多様性を実感することができました。

留学を通して

留学を通じて、これまで当たり前だと思っていた価値観や考え方を見つめなおす機会となり、本当に視野が広がったと感じています。英語はもちろん、フランス語や経営学に関する知識をより深めようと感じて、また、様々な国を訪れたことで、各国の文化についても理解も深めていきたいと思うようになりました。

知らない国で生活を始めるには、わからないことも、不安を感じることもあったが、まずはやってみることを意識して行動することで、意外と何とかなることも多いと気づきました。わからないことがあれば、親身に温かく対応してくれる人が多く、その優しさに何度も救われました。この経験から、悩み続けるよりもまず一歩踏み出すこと、そして人とのつながりを大切にすることが、自分の世界を広げてくれるのだと実感しました。

※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	買い物		Organizational Psychology	課題・復習	Sustainable Global Wine Business	旅行
午後	Business Negotiation	International Strategy	Complete Beginners I	Storytelling and Self-Management		
夜						

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。

ブレーメン州立経済工科大学



国・都市：ドイツ・ブレーメン

ブレーメンの特徴：

中世以来の自由都市としての地位を現代まで維持している。ブレーメン州はブレーメン市と、ブレーマーハーフェン市の2都市からなる。

■創立：1799年

■学生数：8,000人

■大学の特徴：

- ・州立単科大学で、ヨーロッパはもちろん世界の大学と交換留学協定を結んでおり、留学生の受入体制も整っています。学生の約10%が外国籍です。
- ・ドイツで最も新しい大学の一つであり、単位互換性の高さや国際性が特色。ドイツ国内の複数の賞を受賞し、2001年にはドイツ学術財団連盟より「改革単科大学」の名称が与えられました。
- ・BSA学生は経済学部の特別プログラムに参加します。ドイツ語および英語コースが開講され、それぞれの言語で専門科目に参加する事ができます。



過年度派遣学生体験記
(2025年度夏期 BSA II)

なぜ留学へ

日本での留学経験をきっかけに、「世界は思っているより広く、やってみたいことはたくさんある」と感じて、さまざまな経験をしてみたいと考えるようになりました。その中でも、大学生の今だからこそできる経験として、交換留学に挑戦したいと思いました。英語で経営学部の授業を履修できること、そして幼い頃から親しみのあった「ブレーメン」という地域であることに魅力を感じ、留学を決意しました。

留学情報の収集

ヨーロッパという新しい環境に対しては多少の心配がありました。特に、ドイツ語が話せないことで日常生活やコミュニケーションに支障が出ないか、またブレーメンへの交換留学に関する情報が少ないことに不安を感じていました。実際には、多くの韓国人が利用しているNaverブログなどを活用することで、ドイツ生活に関するほとんどの情報を得ることができました。また、周囲に韓国人の交換留学生在がいれば、分からないことを積極的に聞くことを勧めたいです。行動が早く、情報共有にもとても協力的であると感じました。

英語・ドイツ語の勉強について

私は内向的な性格ですが、せっかくの機会と思って、大学主催のイベントには積極的に参加し、自分から話しかけるようにしました。英語で会話を重ねるほど、自分の英語力の未熟さを実感する一方、それが逆に英語学習への大きなモチベーションとなりました。また、ドイツ語の授業は週2回行われるため、スケジュール的にやや大変ですが、短期間でドイツ語力を伸ばしたいと考えている学生にとっては、非常に良い授業だと思います。また、英語が苦手な学生向けの教養科目を中心に履修しました。これらの授業は少人数で英語が得意でなくても、ゆっくり話すことを待ってくれました。ただし、これらの授業を受けるだけで英語力が大きく向上するわけではないと感じました。英語力を伸ばすためには、授業以外にも自分自身で継続的に英語学習に取り組む必要があります。

友達作りや人間関係

日本語専攻のドイツ人学生が多く、ドイツ人の友人を比較的早く作る事ができました。会話の際にも言語的な不安が少なく、さまざまな面で助けてもらいました。また、日本人留学生在が多く、日本人と過ごす時間が自然と多くなりました。一方で、韓国人の交換留學生は他学部にも所属していることが多く、一緒になることはあまりなかったが、授業内で韓国人学生と出会い、少しずつ親しくなることができたため、人間関係について過度に心配する必要はないと感じました。

※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	予習・復習・課題	買い物	予習・復習・課題	English (B1.1)	掃除	
午後	・ German - Complete Beginners ・ Positive Psychology & Mindfulness	タンデム	German-Complete Beginners	Intercultural Communication	課題・予習・復習	友達と出かける
夜						

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。

アーヘン応用科学大学



過年度派遣学生体験記 (2024年度夏期 BSA II)

アーヘンでの生活

私が留学したアーヘンは、ドイツ西部に位置する学生の街です。物価は比較的安く、生活に不便はほとんどありませんでした。日常生活は英語で対応できますが、ローカルなお店ではドイツ語が必要で、言語や文化に触れる良い機会となりました。オランダのマーストリヒトやドイツのケルンへは電車で約1時間とアクセスが良く、週末には観光も楽しめます。冬のクリスマスマーケットも印象的で、落ち着いた環境と国際的な雰囲気と兼ね備えた魅力的な街でした。

学習

大学ではドイツ語、マクロ経済、ビジネス基礎を学びました。ドイツ語は初学者で苦勞しましたが、協働型の授業で楽しく学ぶことができました。経済やビジネスの授業では学生の発言が活発で刺激を受けました。ヨーロッパの視点から経済を学ぶことで、世界経済を多角的に捉える力を養いました。

魅了されたビール文化

ドイツでの生活の中で、個人的に最も魅力的だと感じたのがビール文化でした。もともとお酒が好きであったこともあり、この文化に強く惹かれました。スーパーには日本では見たことがないほど多様なビールが並び、老若男女を問わず、多くの人がビールを日常的に楽しんでいる様子が印象的でした。私も友人とパブに足を運び、初対面の学生とも自然に会話が生まれ、交流を深める貴重な経験をしました。ビールを通じて人と人がつながるこの文化は、コミュニケーションのあり方や異文化理解の大切さを改めて考えるきっかけとなり、将来や価値観にもつながる意味のある経験でした。

留学を通して学んだこと

この留学を通して、日本では経験することのできない多くの貴重な体験ができたことと自信をもって言えます。現地で生活する中で、困難な壁に直面した際に、自分自身で考え、乗り越える力を養うことができました。また、右も左も分からない私に対して、温かく、親切に接してくれる人々と出会ったことも、強く心に残っています。一人で生活することの大変さや、言語や文化の異なる環境におけるコミュニケーションの重要性など、この留学を通して学んだことは数え切れません。正直なところ、留学に行くかどうか迷っていた時期もありましたが、帰国した今でははっきりと「留学して良かった」と言えます。学生のうちに海外で学び、生活することは、自分自身の価値観や視野を大きく広げる、非常に刺激的で意義のある経験となりました。

※先輩体験記より抜粋

国・都市：ドイツ・アーヘン

アーヘンの特徴：

電車でパリから約2時間半、ブリュッセルからは約1時間。車で30分ほど行けばオランダ/ベルギー/ドイツ3ヶ国の国境地点に到着する。古代ローマ帝国時代から温泉保養地として知られており、8世紀末には、一時、フランク王国のカルル大帝が王宮を置き事実上の首都となった。

■創立：1971年

■学生数：13,000人

■大学の特徴

- ・世界中の170大学と協定を結んでいます。
- ・ドイツの新聞社（Die Zeit）による大学ランキングのビジネス部門でトップにランキングされています。
- ・10学部からなり、アーヘン内の4キャンパスとユーリッヒの1キャンパス、計5キャンパスを有する大学です。

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	Macroeconomics	Macroeconomics	Information Technology Principles of Business and Economic Human Resources and Organizations	Human Resources and Organizations	旅行	旅行
午後	Principles of Business and Economic German Course	自習	Information Technology	自習		旅行・サッカー
夜	友人と夕食			旅行		旅行

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。



国・都市：スペイン・アルカラ
(正式名称：Alcalá de Henares)

アルカラの特徴：

首都マドリードから国鉄RENFEで約35分、バスで約30分。学問の都市、学生の街として知られている。小説『ドン・キホーテ』の作者セルバンテスの出生地としても有名。

■創立：1977年

■学生数：約26,000人

■大学の特徴：

- ・3つのキャンパス (Campus histórico, Campus Científico-Tecnológico y Campus Guadalajara) で約30,000人の学生が学んでいます。3キャンパス間は国鉄RENFEとバスで快適に行き来できます。
- ・多くの留学生を受け入れている国際性の高い大学です。
- ・世界で最初の計画的な大学都市であること、その都市計画がアメリカ大陸やヨーロッパのモデルになったこと等から、1998年アルカラ大学と周辺の歴史地区がユネスコの世界遺産 (文化遺産) に登録されています。
- ・大学キャンパス内部の大講堂では、毎年4月23日にスペイン語圏のノーベル文学賞といわれるセルバンテス賞の授賞式が行われます。
- ・アルカラ大学は留学生のためのスペイン語教育に力を入れています。留学生のためのスペイン語コースはすべて有料で、アルカラ大学付属のアルカリングアが運営しています。

アルカラ大学



過年度派遣学生体験記
(2023年度夏期 BSA II)

Alcala de Henaresってどんな街？

アルカラはマドリードの中心部から電車で40分程度のところにある小さな街です。街の中心にあるセルバンテス広場では、クリスマスマーケットや中世マーケットなどの様々なイベントが開かれており、一年を通してスペインの伝統的な催し物を楽しむことができます。また、私の留学先だったアルカラ大学は校舎がユネスコにより世界遺産に登録されており、スペインで最も威厳のある公立大学の1つとして知られています。

時間がゆっくり流れる国

スペインは夏の日没が9時過ぎ、冬でも6時半ごろと日照時間の長い国です。そのこともあって、お昼過ぎから夕方4時くらいまでの時間はほとんどのお店が閉店します。このお昼休憩の時間をスペインではシエスタと呼び、夜営業の開始が8時からのレストランもしばしば見かけます。

スペインでは友人たちとよくタパスバーに行きました。タパスというのはスペイン風のおつまみのことで、タパスバーではドリンクを1杯頼むとおつまみが1皿ついてきます。現地の人々はお昼からタパスバーでワインやビールを楽しんでいます。ちなみに学校のカフェテリアでも学生がビールを飲んで談笑している姿が見られ、日本では見られない光景に驚きました。スペインでは厳しい制限があちこちにある訳ではなく、ゆったりした環境の中でゆっくり時間が過ぎるのを感じることができました。

普段の生活

平日は授業が終わった後に友人たちと図書館に行って自習をしたり、公園でのんびりしたりして過ごしました。毎週木曜日にはフラットメイトとディナーをするのが恒例でした。それぞれ異なるバックグラウンドを持つフラットメイトたちと順番に自国の料理を作り合いました。最初はスペイン語の会話に全くついていくことができませんでしたが、学期末までにはなんとなく会話の内容が掴めるようになり達成感を感じました。

キャンパスライフ

授業を受ける中で印象的だったのが学生の積極性です。大講義であっても学生たちが積極的に手を挙げて発言する姿は日本ではあまりない光景なので驚きました。私が毎回楽しみにしていた授業がアルカリングアと呼ばれるスペイン語の授業です。オールスパニッシュでレベルは高いですが、少人数授業なので質問がしやすく、楽しくスペイン語を学習することができました。アルカラ大学に留学する予定の方にはぜひオススメしたい授業です。

自己成長

この留学は自立という意味でとてもいい経験になったと思います。住居がない状況で渡航し現地の不動産屋さんに駆け込んでシェアフラットを見つたり、言葉が通じず知っている人が誰もいない土地で新しい人間関係を構築したりした経験は、日本国内ではできない貴重な経験でした。また明るく陽気で、はっきり物を言い、愛情表現をする、日本人と対照的と言っているような国民性を持つスペインの人々と関わっていく中で、自分の国の文化や自分の人生について見つめ直すきっかけも持つことができたと思います。

※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	Economía y Procesos de Internacionalización	Introducción a la Economía	Introducción a la Economía	掃除	自習	旅行
午後	Alcalingua (スペイン語の授業)	Alcalingua	Alcalingua	自習	友人とお出かけ	
夜				フラットメイトとディナー	パーティー	自習

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。

※アルカリングア (Alcalingua) はアルカラ大学付属の留学生向けスペイン語センターで、履修に際しては別途授業料の支払いが必要です。

カモーンカレッジ



過年度派遣学生体験記
(2025年度夏期 BSAIV)

なぜ留学へ

中学、高校時代英語が得意だったこと、いところが留学に行ったことをきっかけに海外に興味を持ち、漠然と留学をしてみたいと思うようになりました。大学2回生の夏にフィリピンに短期留学に行き、そこで、海外で生活することにさらに興味がわき、本格的に長期留学を目指すようになりました。そして大学3回生からカナダのカモーンカレッジに留学しました。

留学生活における苦労と挑戦

留学では、自分の視野を広げ、将来のキャリアに活かせる経験を積むために挑戦しましたが、多くの苦労もありました。到着前には住居探しや履修登録をすべて自分で行う必要があり、希望に合う住居を見つけるのに苦労しました。履修登録も大学スタッフとやり取りしながら進める必要があり、初めての経験で戸惑いました。さらに就学ビザの発行が遅れ、出発が危ぶまれましたが、なんとか取得できました。

学校が始まると、アカデミックの授業についていくのが大変でした。周囲はネイティブや流ちょうな留学生ばかりで、授業にもついていけず、クラスメイトとのコミュニケーションにも苦労しました。生活面でも慣れないことばかりでした。

努力と工夫を通じて得た成長

困難を乗り越えるため、課外活動としてボードゲームクラブやサッカークラブに参加し、交流の機会を増やしました。大学外でも、自分から友人を誘って食事やハイキングに行ったり、他言語を学ぶ交流会に参加したりして、多国籍の人々と文化や価値観の違いを話し合い、異文化理解を深めました。

留学では自分から行動する力を身につけ、英語力や異文化理解だけでなく、問題に直面したときに考え、行動する力や自己を客観的に見つめる力も得られました。大変な経験も含め、すべてが成長につながる貴重な機会だったと感じています。

※先輩体験記より抜粋

国・都市：カナダ・ビクトリア
(ブリティッシュコロンビア州)

ビクトリアの特徴：

カナダ・ブリティッシュコロンビア州南西部、バンクーバー島の南端部にある、同州の州都。温暖な気候で、美しい英国風の街並みが広がる。

■創立：1971年

■学生数：20,000人

■大学の特徴

- ・ビクトリアで最大の大学で、多彩なプログラムを提供しています。
- ・LansdowneとInterurban、2つのメインキャンパスがあり、バスで行き来することができます。
- ・世界80か国から約2,100名の留学生が学んでいる国際的な大学で、職員も多国籍で日本人スタッフが常駐しています。
- ・授業は30名前後の少人数制で、丁寧な教育を受けることができます。

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	ボードゲームクラブ	ボードゲームクラブ・ Introduction of Macro Economics	Marketing Research	Introduction of Macro Economics	Marketing Research	Marketing Research
午後	サッカークラブ・ Introduction of Marketing		Introduction of Marketing		サッカークラブ	友達と遊ぶ
夜						

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。

ランカシャー大学



過年度派遣学生体験記
(2024年度夏期 BSA II)



国・都市：イギリス、プレストン
(ランカシャー州)

プレストンの特徴：

ランカシャーの州都で、ロンドン、エディンバラから2時間以内、リバプール、マンチェスターからは1時間以内とイギリス全土への交通が非常に良い場所に位置している。雇用、所得、ワークライフバランス、交通、技能、環境、住宅価格を含む10項目を英国42都市で測定したGood Growth for Cities総合16位にランクされ、英国国内でも注目されている都市でもある。

■創立：1828年

■学生数：42,000人

■大学の特徴

- ・イギリス最大の大学のひとつで、プレストン、パーンリー、ウェストレイク、キプロスにもキャンパスを所有し、400以上の学部課程と200以上の大学院課程がある大学です。
- ・2015年のCentre for World University Rankingsでは、全世界の大学の上位3.8%にランクインし、教育の質の高さで世界的に知られています。
- ・世界100か国以上から留学生を受け入れ、世界中の120以上の機関と提携している国際的な大学で、留学生へのサポートも充実しています。

イギリスでの生活と価値観の変化

イギリスでの生活は、飾らず自分らしくいられる環境でした。好きなことを学び、自由に時間を設計し、行きたい場所や挑戦したいことが身近にあるため、落ち込む時間すら惜しいと感じる日々でした。私は6人共同生活のフラットに住み、個室はありましたが留学生は私一人でした。最初は寂しさもありましたが、現地の学生と自然に交流できる環境は非常に恵まれていたと感じています。

週末には友人に地元を案内してもらったり、鉄道で観光地や美術館を訪れたり、自然保護区やハイキングにも出かけました。日本では家で過ごすことも多かった私にとって、自然に触れ地域の人と談笑する時間は心身のリフレッシュとなり、帰国後も続けることで精神的・肉体的にも健康になったと感じています。近隣のマンチェスター空港から国外への旅行も容易で、多様な文化に触れる機会も得られました。

学業面での挑戦と人とのつながり

授業では、英語のレベルや内容が高度で、特に学生の英語が速くグループワークに苦労しました。「これだけは伝えたい」という意見を事前に整理し準備することで授業に臨みました。先生方は丁寧で温かく、メールでの質問対応や授業内容のフォローもあり、人を頼ることや人とのつながりの大切さを実感しました。特に韓国人留学生の友人やフラットメイトとは日常的に連絡を取り合い、精神的な支えとなりました。就職活動との両立は難しく、時差で深夜にオンライン面接や説明会に参加することもありました。

留学を通して得た人生観

狭く深い人間関係を築くタイプの私にとって、留学を楽しむ友人や就職活動に励む友人を見て焦りを感じることもありましたが、自分の目標を見失わず生活することで、長期的視点で物事を考え計画的に行動する力が身につきました。8か月間の留学を通して語学力だけでなく、自分と向き合う力も養えました。長期休暇を利用して10か国を訪れ、世界を見る視点が広がり、食文化や芸術への関心も深まりました。多国籍の友人との出会いを通して、価値観や人生観が豊かになり、大学生活においてかけがえのない経験となりました。

※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	自習	自習	授業	自習	自習	旅行や友人とお出かけ
午後	授業	授業	自習			
夜	フラットメイトと夜ご飯	フラットメイトとご飯	友達と夜ご飯	フラットメイトと夜ご飯	外食	

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。

(★) 派遣型

レディング大学



国・都市：イギリス・レディング市

レディング市の特徴：

ロンドンから電車で25分。商業都市で、国際企業の英国支社が近隣に立地している。

■創立：1926年

■学生数：27,000人

■大学の特徴：

- ・ヒースロー空港／ガトウィック空港へのアクセスが良い場所にあります。
- ・キャンパス内には湖もあり、緑も多く、生活環境はとても良いところです。在学生の10%程度は留学生です。
- ・国際経営のレディング学派が生まれた大学であり、イギリスで最初に作られた伝統あるファウンデーションコースの経営関連の授業は、ビジネススクールの教授陣が教鞭を取ります。
- ・ファウンデーションコースに在籍する約120名の学生と共に学習することによって、英語力だけでなく、経営学の基礎学力も飛躍的に伸びることで有名なコースです。



過年度派遣学生体験記
(2017年度夏期 BSAIV)

プログラムを通じた成長

本プログラムを通して、私は多方面で成長できたと感じています。これまで学んだ理論を実践的にどう活かすかを考える貴重な機会となり、より発展的な視点を得ることができました。University of ReadingのIFPの学習環境は私の理想に近く、その理由は教育システムと内容にあります。

レディング大学の学習環境

IFPでは履修科目は4科目で、1週間に計14回、各50分の授業が行われます。同じ科目を複数回学ぶことで、自然と内容が定着しやすい仕組みでした。また、講義に加えSeminarやTutorialなど少人数形式の授業もあり、より深く学ぶことができました。

印象に残ったマーケティングプロジェクト

春季タームにはグループワークが増え、特に経営学のマーケティングプロジェクトが印象に残っています。センター街の店舗を対象に調査を行い、直前に学んだ理論を活用して顧客データを分析しました。理論を実践に結びつける経験は新鮮で、大きな学びとなりました。一方で、メンバー間のモチベーションの差に苦勞し、リーダーシップや協働の重要性も実感しました。

留学生活での挑戦と交流

留学中は人とのつながりも大切にしました。バンドサークルやテニスクラブに参加し、交流の幅を広げました。さらに音楽をきっかけに、IFP初のタレントショーを企画・開催し、メインパフォーマーとして会場を盛り上げることができました。半年間という短い期間でしたが、多くの出会いと学びに恵まれた充実した留学生活でした。今後もこの経験を活かし、より実りある大学生活を送りたいと思います。

※先輩体験記より抜粋

レディング大学のInternational Foundation Programme (IFP) を立命館大学経営学部生向けにアレンジした「派遣型留学プログラム」です。

● Foundation Programme とは、イギリスの大学で開講されている大学進学準備のためのコースで、大学の授業についていける英語力や基礎知識を学ぶためのカリキュラムとなっています。

■ 現地での履修科目 (例)

International Foundation Programme (IFP) では各セメスターごとに下記の科目の中から3つの科目を履修します。

〈First semester〉

Academic English	Concepts in Politics
Introduction to Sociology	Psychology and the Body

〈Second semester〉

Introduction to Business Management	Foundation Economics -Microeconomics
Statistics and Data Science	Academic Skills

※現地での履修科目は開講年度により変更となる場合があります。

(1) BSA IIIの特徴

キャリア型の「BSA III」は、「ビジネスを発見し、ビジネスを創造する」という学部教学理念に沿い、グローバルな視点に立って世界を舞台に活躍する「ビジネスリーダー」を育成する実践的なプログラムとして、海外の企業で実務研修を行います。

BSA IIIキャリア・ディベロップメント型（海外実習 II）

- ・将来のキャリア形成を目的とし、海外の企業での研修を行います。そこでの実践的な業務を通じて、将来海外で働くために必要な様々なスキルや知識を学びます。研修で得られた経験と学ぶ意欲をもとに、帰国後のさらなる学習につなげ、国際舞台で「ビジネスを発見し、ビジネスを創造する」能力を育成する実践的なキャリア形成型の就学体験プログラムです。
- ・受入機関の業務内容から一定の外国語運用能力を必要とされます。受入機関によって具体的な外国語のスコア条件は異なりますが、必要とされる外国語のスコアは、TOEIC®L&RテストもしくはTOEIC®L&R IPテスト600点以上とします。

(2) 応募資格・派遣先

	派遣先名称	派遣開始時期	募集人数	対象回生	GPA	語学基準
派遣型	アメリカ・フロリダ州/ パレンシアカレッジ および ウォルト・ディズニー・ワールド	2月、8月 (約6ヶ月間)	若干名	派遣時 2回生以上	2.75以上	TOEIC®L&Rテスト (IP可) 600点/ TOEFL iBT®テスト4/ またはIELTS 5.0以上

※上記応募資格を満たした上で、派遣先の実施する選考があります（語学測定試験と対面による面接を予定）。

(3) その他

- ・スケジュール、応募要件、参加費用（※）、奨学金額、単位取得数については、募集要項・ガイダンスで確認してください。
※選考過程で交通費等の費用が発生する際は、全て自己負担となります。
- ・インターンシップ科目の要卒単位認定には、制限があります。
〈制限内容〉卒業までに原則2科目／8単位以内。単年度は1科目／4単位以内。
- ・全学インターンシップ科目との併願はできません。



(4) 派遣先紹介・学生体験記



アメリカ・フロリダ州

■オーランド市の特徴：

アメリカ南東部フロリダ州の中部に位置するオーランドはディズニーワールド、ユニバーサルスタジオなどテーマパークで知られるレジャー・リゾート地です。12月でも最高気温が20度を超えことも珍しくはない温暖な気候ですが、冷え込む日には10度を切ることもあり注意が必要です。夏は冷房も強いいため、上着が必要な場所も多くあります。

バレンシア国際カレッジプログラム

■プログラム内容

バレンシアカレッジ講師によるビジネスマネジメント、リーダーシップのコース履修と、同州のウォルト・ディズニー・ワールドでの就労体験を組み合わせたプログラムです。

現地でのプログラムへ向けた準備として、事前に国内でガイダンスや講座を受講します。世界中から集まった仲間と共に学び、働く体験を通じてグローバルに活躍する上で必要な感覚やスキルを身につけることができます。

バレンシア国際カレッジプログラム



過年度派遣学生体験記 (2025年度春期 BSA III)

アメリカのディズニーでインターン&留学って??

私は五か月間、アメリカフロリダ州で留学・ディズニーパーク内で働くインターンをしていました。私にとって留学や海外生活は初めてで、語学力、現地での生活や文化の違いなど心配事はたくさんありましたが人生で一番充実したかけがえのない5か月間になりました。

アメリカでの生活

基本的には週五日仕事、週一日の大学とデイオフという生活をしていました。シフトは一日6~8時間が多く、週の中で休日が一日しかないため生活に慣れるまでは休みが取れず大変なことも多いと思います。慣れてくると、仕事の前後でパークに遊んだり寮に帰って友達とおしゃべりしたりととっても充実した生活を送ることができます。お休みの日は、寮から出ているバスでスーパーマーケットに行ったりパークへ遊びに行ったりしていました。寮のバスは、四つのパークだけではなく各リゾートやディズニー Springs、ウォーターパークにも出ているため交通費もなしでディズニーを堪能することができます。寮の近くにも小さなスーパーマーケットはありますがバスで大きなスーパーマーケットにも行くことができるため、生活に必要な物は十分集めることができます。

ここが魅力！

このプログラムはたくさんの魅力にあふれているのですが、一番は世界中の友達を作れる点だと思います。留学が始まる前は友達関係の不安はもちろんありましたが、生活を振り返ってみると友達をとっても作りやすい環境だと思いました。大学留学とは違い、大部分が“ディズニーで働くインターン”であり毎日の仕事で必ず同僚とコミュニケーションをとらないといけないため必然的に話す機会がありそこから仲良くなりやすいです。また Disney College Program は世界中から参加している大学生がいて、年齢も近く住んでいる場所も同じなため一緒に帰りながら話したりと仲良くなれるチャンスがとっても多いです！

プログラム参加を考えている方へ

迷わず参加してください！！もちろん海外で英語を使って働くことは楽しいことばかりではありませんが、大学生のうちしかできないこの先どれだけのお金を払っても絶対に得ることのできないかけがえのない経験です。今までの五か月間とは比べ物にならないほど充実した日々をぜひ経験してみてください！)

※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	パーク、スーパーマーケット、ディズニー Springs などに行く
午後	16時ごろから勤務	16時ごろから勤務	16時ごろから勤務	講義 (leadership, international business)	16時ごろから勤務	
夜	23時頃帰宅	23時頃帰宅	23時頃帰宅	20時頃帰宅	23時頃帰宅	

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。

(インターンシップ役割例)

- ・パーク内お土産販売店 販売担当
- ・系列ホテル内ショップ 販売担当
- ・各種アトラクション 誘導・保守担当
- ・フード販売ワゴン担当
- ・レストランキッチンスタッフ

- 留学の目的を、事前にさまざまな角度からじっくりと考えてみてください。曖昧な動機で留学に応募すると、明確な成果を得ることができない場合がありますので、目的意識をしっかりと持つことが大切です。
- 留学を応援してくれる父母等家族のみなさんの理解を得ておくことも非常に大切です。どの時期に、どの国・地域で、どのような内容のプログラムに参加したいのかという意味を伝え、理解を得ておきましょう。また、留学に向けての準備段階や、留学中はあらゆる情報を共有し、無用な心配をかけないように心がけましょう。家族とのコミュニケーションは留学を成功させる第一歩です。
- 留学に必要な経費を計算してみましょう。予想よりも多くのお金が必要かもしれません。それらの必要経費を準備できる資金計画はあるか、家族からの経済的援助を受けることはできるか等をクリアしておく必要があります。
- 留学にはパスポート申請やビザの取得を始め、海外渡航に関わるさまざまな手続きが必要になります。留学を希望する場合は、前もって経営学部事務室までご相談ください。
- BSAの各プログラムは派遣先大学や機関が企画・運営しています。予定しているプログラム内容から変更になる場合もあります。
- 派遣確定後にある事前講義・事後講義や各種ガイダンスへの出席および渡航手続き等に関し、教職員の指示による期限を遵守しない場合、プログラムの参加や単位授与を取消す場合があります。
- 各プログラムにおいて、派遣内定者が一定人数に達しない場合は、プログラムが実施されないことがあります。その場合は別途、派遣内定者へ連絡します。
- 現地での留学・実習期間が定期試験の追試や成績確認制度の日程と重なる場合は、それらを受けることはできません。また、それに対する特別措置もありません。
- 派遣に際して個人加入の海外旅行保険の有無に関わらず、立命館大学指定の海外旅行保険への加入が必要です。



memo



■応募編

- Q** BSAプログラムに参加したいのですが、応募資格を満たすには何を準備すればよいですか。
- A** 学業成績と語学スコアが重要です。留学するには、日々の学習に励んで、よい成績を修めるよう心がけてください。なお、出願要件については、変更になる場合があります。応募前に必ず募集要項を確認してください。
- Q** BSAプログラムと全学募集プログラム（国際教育センター主管の留学プログラム）はどう違いますか。
- A** BSAプログラムは経営学部によって運営されています。一方、全学募集プログラムは、国際教育センターによって運営されています。また、BSAプログラムではビジネススクールや経営学部を有する海外の大学に留学し、経営の専門知識を修得することに重点が置かれている点が特長です。留学先で修得した単位の多くは、帰国後に専門科目として認定される傾向があります。そのため、留学をしても4年間での卒業が十分可能です。
- Q** BSAプログラムと全学募集プログラム（国際教育センター主管の留学プログラム）を併願することはできますか。
- A** 同じ期間に実施される留学プログラムの選考に応募・合格している場合は、同期間のプログラム（全学募集プログラム・BSAプログラムの別を問わず）に応募できません。同じ期間に実施されるプログラムへの応募を希望する場合は、応募・合格しているプログラムの辞退を申し出た後で、応募してください。

■準備編



- Q** 留学にはどれぐらい費用がかかりますか。
- A** 留学先や期間、プログラムによってかかる費用は異なります。詳細については本手引き中の「参加費用等」を参照してください。
- Q** 派遣先大学で履修するコースや科目を知りたいのですが、どのように確認できますか。
- A** 経営学部の協定校の多くは、留学生のためのホームページを開設しています。ホームページ上で、留学生が受講できるコースを参照してください。また、経営学部事務室では、過年度派遣学生が受講していた科目リストを管理しています。留学相談の際に、参考にしてください。
- Q** BSA II・IVで留学する場合、渡航日や帰国日は自分で決めて良いのでしょうか。
- A** BSA II・IVでは、航空券は各自手配になりますが、必ず本学及び派遣先が定める期間内に出入国するよう定められています。

■留学中編



- Q** BSAプログラム参加中の滞在先はどのような場所ですか。
- A** 派遣先大学指定の学生寮がある場合は、学生寮に滞在することが多いです。派遣先大学によってはホームステイやシェアハウス、アパートになる場合もあります。
- Q** 留学を中断する、または留学期間を延長することは可能ですか。
- A** 原則として、認められません。ただし、やむを得ない事情の場合は、必ず派遣先大学および経営学部事務室に相談してください。
- Q** 留学中のアルバイトは認められますか。
- A** 留学先で学業に専念するため、BSAプログラムでは留学中のアルバイトは認めていません。



■帰国後編

- Q** 留学先大学で修得した単位は立命館大学でどのように認定・授与されますか。
- A** BSA II・III・IVにおいて修得した派遣先大学の単位は、本人による単位認定申請を受けて、所定の基準に基づき、本学の授業科目単位として認定を行います。認定単位数については、派遣された大学での各自の履修科目により異なります。また、BSA I、I Plusでは、各プログラムに対応する立命館大学の単位が授与されます。
- Q** 帰国後、すぐに必要な手続きは何ですか。（適用対象：BSA II・III・IV）
- A** 帰国後、すぐに必要な手続きは「留学終了届」と「留学帰国者単位認定案申請書」の提出です。この手続きは留学帰国後の受講登録および留学中に修得した科目の単位認定に関わりますので、帰国後速やかに行ってください。
- Q** 帰国後、学内で自分の留学経験を活かしたいのですが、どのようなところで活かすことができますか。
- A** 帰国後には、海外派遣・留学経験、修得した経営学の専門知識や外国語運用能力等を活かせるよう、英語による経営学専門科目の受講、留学生バディ制度による受入留学生支援、BSAガイダンスでの体験談発表、BSAホームページでの留学体験記執筆など、さまざまな活躍・活動の場が考えられます。

■履修編



- Q** BSAプログラムに参加して4年間で卒業できますか。
- A** BSAプログラムに参加する場合、留学期間は在学年数に含まれるので、しっかりとした学習・留学計画を立てていれば4年間で卒業できます。
- Q** 自分の語学力で海外の大学の講義についていけるか不安ですが、大丈夫でしょうか。
- A** 出願要件をクリアしているのであれば、語学力について必要以上に心配することはありません。ただし、あくまでも本手引き記載の基準はプログラム応募にあたっての基準スコアです。派遣先への申請時や派遣先での科目履修の際、応募時の基準以上の語学力を要求している派遣先もあります。応募基準を満たし、派遣予定者に内定した後も語学力の向上を目指してください。また、留学開始直後は、慣れない授業スタイルや大量の課題に苦しむ学生が多いのも事実です。その際には、積極的に留学先の先生や職員と相談することをお勧めします。受身にならずに自ら解決策を探そうとすることが大切です。試行錯誤して努力することを通して、自分に合う方法が見つかるはずですよ。また、英語以外の言語を公用語とする大学への留学を希望する場合は、英語だけでなく、派遣までに現地公用語の学習にも、ぜひチャレンジしてください。派遣先の生活環境によっては公用語を一定程度習得しておいた方が、生活面での心配が軽減されます。
- Q** 1セメスター以上の留学をする場合、専門演習（ゼミ）の履修は可能ですか。
- A** BSA（正規留学プログラム）に参加する場合、留学期間中の「専門演習Ⅰ～Ⅲ」の受講は免除されます。留学帰国後は、原則として留学前と同じクラスに所属し継続履修をする事ができます。帰国後に所定の申請書に必要事項を記入のうえ、提出してください。また、専門演習の募集・選考期間に留学をしている場合は、留学中に応募が必要です。面接等が必要な場合があるので、各担当教員の指示に従ってください。

■その他



- Q** BSAプログラムでは、どのような奨学金を受けられますか。
- A** 立命館大学は海外留学に参加する学生を支援する「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」制度を設けています。BSAプログラムでは本奨学金制度が適用されます。BSA各プログラムの奨学金の詳細は、本手引きの該当ページを参照してください。また、BSA II・IVの参加者は、経営学部独自奨学金「三島俊介奨学金」が適用されます。なお、BSA IIIについては、募集要項・ガイダンスにて確認してください。（BSA I：P.9 BSA I Plus：P.15 BSA II・IV：P.22）
- Q** BSAプログラムに参加して就職活動に支障が出ませんか。
- A** 出発時期によって留学と就職活動期間が重なる場合、企業説明会や選考に参加できない場合があります。留学と就職活動を両立させるために、しっかり留学計画を立ててください。必要に応じてキャリアオフィスへ事前にご相談ください。

経営学部BSAⅠ～Ⅳ学生派遣実績（2007年度～2025年度）

		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020		2021		2022		2023	2024	2025	合計	
		現地渡航	オンライン	現地渡航	オンライン	現地渡航	オンライン																		
BSAⅠ	中国（対外経済貿易大学/蘇州大学）	12	13	8	17	21	18	6	-	5	10	11	26	13	-	-	-	-	-	-	-	-	0	160	
	ニュージーランド（マッセイ大学）	30	26	17	18	8	7	23	12	18	13	11	15	16	-	-	-	-	-	-	20	12	16	262	
	アメリカ（ウェスタンミシガン大学）	11	30	0	13	20	23	21	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	131	
	韓国（建国大学/国立昌原大学）	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11
	オーストラリア（マコーリー大学）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	小計		53	69	25	48	49	48	50	36	23	23	22	41	29	0	0	0	0	0	0	20	12	16	564
BSAⅡ	アメリカ（カリフォルニア大学デービス校）	-	-	-	-	-	-	-	4	4	5	8	3	0	-	-	-	-	-	-	5	8	12	49	
	小計		0	0	0	0	0	0	4	4	5	8	3	0	0	0	0	0	0	0	5	8	12	49	
BSAⅢ	大連外国語大学（中国）	2	4	0	2	2	0	0	1	0	0	0	0	2	-	-	-	-	-	-	1	0	1	15	
	対外経済貿易大学（中国）	-	-	-	-	-	0	0	0	1	1	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0	2	
	カモーンカレッジ（カナダ）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	
	オークランド工科大学ビジネススクール（ニュージーランド）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	
	タマサート大学（タイ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	-	-	-	-	0	-	0	1	0	2	
	ストックホルム大学ビジネススクール（スウェーデン）	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	-	-	-	-	0	-	0	1	0	6	
	ストラズブル工科大学ビジネススクール（フランス）	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	2	1	-	-	-	-	1	-	1	1	1	11	
	ブレーメン州立経済工科大学（ドイツ）	0	0	0	0	2	0	0	1	0	2	1	0	0	-	-	-	2	0	-	1	0	2	11	
	アーヘン応用科学大学（ドイツ）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	2	-	-	-	-	2	-	2	3	2	17	
	アルカラ大学（スペイン）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	0	5	
	ランカシャー大学（イギリス）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	
	エセムビジネススクール（フランス）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	シンガポール国立大学（シンガポール）	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	フレージャー・ヴァレー大学（カナダ）	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
小計		4	6	0	2	4	1	0	3	2	5	5	6	5	0	0	0	2	4	0	9	6	6	70	
BSAⅣ	アメリカ（バレンシアカレッジおよびディズニー）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	6	12	21	42	
	フィリピン（スービック）	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	イギリス（クロスカルチャーホールディング）	4	2	3	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	
	中国（CIP）	2	4	3	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	
	アメリカ（ディズニー）	2	5	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	
	アメリカ・サンディエゴ（HIA）	-	-	-	-	8	7	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	
	カナダ バンクーバー（MYK）	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
	ニュージーランド（マッセイ大学）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
小計		8	11	10	0	9	7	10	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	6	12	21	97	
BSAⅤ	大連外国語大学（中国）	3	2	2	1	3	4	0	0	0	0	0	1	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0	16	
	対外経済貿易大学（中国1年）	-	-	-	-	-	1	1	0	0	0	1	0	0	-	-	-	-	-	-	2	0	0	5	
	対外経済貿易大学（中国1.5年）	-	-	-	-	-	2	-	1	1	0	1	0	1	-	-	-	-	-	-	0	0	0	6	
	カモーンカレッジ（カナダ）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	
	タマサート大学（タイ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	0	-	0	0	0	0	
	ストックホルム大学ビジネススクール（スウェーデン）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	-	-	-	-	1	-	2	1	0	8	
	ストラズブル工科大学ビジネススクール（フランス）	0	3	1	3	0	0	5	0	5	4	0	4	1	-	-	-	-	1	-	3	1	2	33	
	ブレーメン州立経済工科大学（ドイツ）	0	0	0	2	0	0	3	0	2	3	2	0	1	-	-	-	-	0	-	1	2	0	16	
	アーヘン応用科学大学（ドイツ）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	-	-	-	-	2	-	1	0	0	8	
	アルカラ大学（スペイン）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	0	-	0	1	
	ランカシャー大学（イギリス）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0	2	
	レディング大学（イギリス・派遣型）	2	10	5	3	2	2	0	2	3	2	1	3	0	-	-	-	-	0	-	0	0	0	35	
	シンガポール国立大学（シンガポール）	1	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	エセムビジネススクール（フランス）	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
オークランド工科大学ビジネススクール（ニュージーランド）	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3		
小計		7	15	10	11	5	9	9	3	12	10	6	12	6	0	0	0	0	5	0	10	7	3	140	
合計		72	101	45	61	67	65	69	46	41	43	41	62	40	0	3	0	2	9	0	50	45	58	920	
															3		2		9						

〈参考〉全学募集留学プログラムへの経営学部派遣実績

■2025年度 (2025年12月現在)

プログラム名		派遣者数計	経営学部
Global Fieldwork Project	マレーシア科学大学	26	1
	チュロンコン大学	12	2
	ホーチミン市人文社会科学大学	16	3
	バンジャサ大学	14	0
Advanced Global Fieldwork Project	15	1	
立命館・昭和三十四年「文化・社会調査」プログラム	10	1	
異文化理解セミナー	アラバマ大学	10	2
	ピクトリア大学	39	6
	クイーンズ大学	47	5
	ニー・アン・ポリテクニク	26	1
	イリノイカレッジ	28	1
	ボストン大学	29	4
	トロント大学	45	6
	ウォーリック大学	30	3
	クイーンズランド工科大学	40	3
	国立台湾師範大学	14	0
現地で学ぶ初修語セミナー	モンテレイ工科大学	16	1
	北京大学	14	0
	高麗大学	30	4
	トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校	24	5
	ライプツィヒ大学	14	1
海外スタディ	アルカラ大学	29	1
	マレーシア工科大学	15	1
	ラトガーズ大学	18	2
立命館・マコーリー大学「日豪関係」プログラム	27	5	
立命館・ヨーク大学「イギリスで学ぶクリエイティビティ」プログラム	24	1	
立命館・カリフォルニア大学デービス校「アメリカの言語・文化・社会」プログラム	35	10	
立命館・ワシントン大学「持続可能な社会とイノベーション」プログラム	15	1	
UBCアカデミック・イマージョン・プログラム	62	15	
立命館・アルバータ大学「北米の言語・文化・社会」プログラム	0	0	
ASEANで学ぶ国際PBLプログラム	6	2	
交換留学	春出発 (英語)	11	1
	夏出発 (英語)	16	1
交換留学	春出発 (初修外国語)	96	1
	夏出発 (初修外国語)	19	7
アメリカン大学との学部共同学位プログラム (DUDP) 2回生派遣	1	0	
国際教育センター実施プログラム分 合計		908	104

■2024年度 (2025年1月現在)

プログラム名		派遣者数計	経営学部
Global Fieldwork Project	ホーチミン市人文社会科学大学	19	0
	マレーシア科学大学	24	2
	バンジャサ大学	8	0
	チュロンコン大学	18	0
Advanced Global Fieldwork Project	0	0	
立命館・昭和三十四年「文化・社会調査」プログラム	15	1	
異文化理解セミナー	アラバマ大学	12	3
	サイモンフレーザー大学	40	4
	クイーンズ大学	40	2
	ニー・アン・ポリテクニク	27	4
	イリノイカレッジ	23	4
	ボストン大学	40	7
	トロント大学	50	4
	ウォーリック大学	49	6
	メルボルン大学	0	0
	ヴィクトリア大学ウェリントン	0	0
現地で学ぶ初修語セミナー	国立台湾師範大学	10	1
	北京大学	16	0
	高麗大学	39	4
	トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校	26	3
	ライプツィヒ大学	17	1
海外スタディ	アルカラ大学	34	4
	モンテレイ工科大学	0	0
	ラトガーズ大学	17	1
立命館・マコーリー大学「日豪関係」プログラム	23	2	
海外スタディ	ベース大学	1	0
	マレーシア工科大学	12	2
立命館xUC Davis Global Online Learning ~アメリカで学ぶSDGsとAcademic English~	0	0	
立命館・カリフォルニア大学デービス校「アメリカの言語・文化・社会」プログラム	14	6	
立命館・ワシントン大学「持続可能な社会とイノベーション」プログラム	28	5	
立命館・ヨーク大学「イギリスで学ぶクリエイティビティ」プログラム	14	2	
立命館・UBCアカデミック・イマージョン・プログラム	36	9	
立命館・UBCアカデミック・イマージョン・プログラム+サマーセッション	61	8	
立命館・UBCアカデミック・イマージョン・プログラム	0	0	
UBC2年目派遣プログラム	2	0	
立命館・アルバータ大学「北米の言語・文化・社会」プログラム	6	2	
ASEANで学ぶ国際PBLプログラム	タマサート大学	2	1
	チュロンコン大学	1	1
	マヒドン大学	0	0
	インドネシア大学	0	0
	ガジャマダ大学	0	0
	バンドン工科大学	0	0
	ASEANで学ぶ国際PBLプログラム	6	3
交換留学	春出発 (英語)	12	0
	夏出発 (英語)	91	16
交換留学	春出発 (初修外国語)	26	1
	夏出発 (初修外国語)	26	1
学部共同学位プログラム (DUDP) 2回生派遣	1	0	
国際教育センター実施プログラム分 合計		912	111

■2023年度

プログラム名		派遣者数計	経営学部
Global Fieldwork Project	ホーチミン市人文社会科学大学	61	23
	ハノイ貿易大学	37	1
	マレーシア科学大学	71	12
	バンジャサ大学	24	7
立命館・昭和三十四年「文化・社会調査」プログラム	44	11	
Advanced Global Fieldwork Project	20	1	
立命館・昭和三十四年「文化・社会調査」プログラム	20	1	
異文化理解セミナー	アラバマ大学	29	3
	サイモンフレーザー大学	0	0
	クイーンズ大学	40	5
	クイーンズ大学	26	2
	ニー・アン・ポリテクニク	19	0
	ノッティンガム大学	0	0
	イリノイカレッジ	14	3
	ボストン大学	30	5
	トロント大学	40	6
	ウォーリック大学	35	2
メルボルン大学	0	0	
現地で学ぶ初修語セミナー	ヴィクトリア大学ウェリントン	0	0
	国立台湾師範大学	12	0
	北京大学	16	1
	高麗大学	45	2
	トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校	17	2
海外スタディ	ライプツィヒ大学	27	5
	アルカラ大学	20	2
	モンテレイ工科大学	0	0
立命館・マコーリー大学「日豪関係」プログラム	19	4	
海外スタディ	ベース大学	0	0
	マレーシア工科大学	9	1
立命館xUC Davis Global Online Learning ~アメリカで学ぶSDGsとAcademic English~	16	3	
立命館・マコーリー大学「日豪関係」プログラム	0	0	
立命館・ヨーク大学「イギリスで学ぶクリエイティビティ」プログラム	0	0	
立命館・ワシントン大学「持続可能な社会とイノベーション」プログラム	27	6	
立命館・カリフォルニア大学デービス校「アメリカの言語・文化・社会」プログラム	17	3	
立命館・UBCアカデミック・イマージョン・プログラム	11	3	
立命館・カリフォルニア大学デービス校「アメリカの言語・文化・社会」プログラム	16	4	
立命館・アルバータ大学「北米の言語・文化・社会」プログラム	7	1	
立命館・UBCアカデミック・イマージョン・プログラム	64	8	
立命館・UBCアカデミック・イマージョン・プログラム+サマーセッション	2	0	
UBC2年目派遣プログラム	3	0	
ASEANで学ぶ国際PBLプログラム	タマサート大学	3	0
	チュロンコン大学	2	0
	マヒドン大学	0	0
	インドネシア大学	0	0
	ガジャマダ大学	4	0
	バンドン工科大学	0	0
	ASEANで学ぶ国際PBLプログラム	8	0
交換留学	春出発 (英語)	10	1
	夏出発 (英語)	76	22
交換留学	春出発 (初修外国語)	24	5
	夏出発 (初修外国語)	24	5
学部共同学位プログラム (DUDP) 2回生派遣	1	0	
国際教育センター実施プログラム分 合計		1006	155

■2022年度

プログラム名		派遣者数計	経営学部
		現地	オン
		渡航	ライン
Global Fieldwork Project	ホーチミン市人文社会科学大学	0	0
	ハノイ貿易大学	0	0
	マレーシア科学大学	0	0
	バンジャサ大学	0	0
立命館・昭和三十四年「文化・社会調査」プログラム	0	0	
異文化理解セミナー	アラバマ大学	0	0
	サイモンフレーザー大学	37	4
	クイーンズ大学	24	3
	ニー・アン・ポリテクニク	0	0
	ノッティンガム大学	0	0
	イリノイカレッジ	10	1
	ボストン大学	14	3
	ニューヨーク大学	0	0
	トロント大学	29	10
	ウォーリック大学	26	2
メルボルン大学	0	0	
現地で学ぶ初修語セミナー	ヴィクトリア大学ウェリントン	0	0
	国立台湾師範大学	0	0
	北京大学	0	0
	高麗大学	35	2
	トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校	0	0
海外スタディ	ライプツィヒ大学	0	0
	アルカラ大学	17	2
	モンテレイ工科大学	0	0
立命館・マコーリー大学「日豪関係」プログラム	0	0	
海外スタディ	ベース大学	0	0
	マレーシア工科大学	6	0
立命館xUC Davis Global Online Learning ~アメリカで学ぶSDGsとAcademic English~	8	1	
立命館・マコーリー大学「日豪関係」プログラム	0	0	
立命館・UC Davis Global Online Study ~アメリカで学ぶSDGsとAcademic English~	0	0	
立命館・マコーリー大学「日豪関係」プログラム	0	0	
立命館・UBCアカデミック・イマージョン・プログラム	26	8	
立命館・ワシントン大学「持続可能な社会とイノベーション」プログラム	0	0	
立命館・カリフォルニア大学デービス校「アメリカの言語・文化・社会」プログラム	0	0	
立命館・UBCアカデミック・イマージョン・プログラム	64	21	
立命館・UBCアカデミック・イマージョン・プログラム	0	0	
UBC2年目派遣プログラム (サマーセッションのみ)	0	0	
ASEANで学ぶ国際PBLプログラム	タマサート大学	4	0
	チュロンコン大学	2	0
	マヒドン大学	0	0
	インドネシア大学	0	0
	ガジャマダ大学	1	0
	バンドン工科大学	1	0
	ASEANで学ぶ国際PBLプログラム	14	3
交換留学	春出発 (英語)	0	0
	夏出発 (英語)	11	1
交換留学	春出発 (初修外国語)	64	11
	夏出発 (初修外国語)	18	4
学部共同学位プログラム (DUDP) 2回生派遣	1	0	
国際教育センター実施プログラム分 合計		442	81

(1) 外国語の学習について

留学にあたっては、一定の語学力が必要になるケースがほとんどです。例えば、交換留学の場合、英語圏については出願時にほとんどの大学でTOEFL iBT®テスト（正規スコア）やIELTSのスコアが必要になります。また、初修外国語圏であれば、その国の言語をできるだけ学習しておくことが重要になります。計画的な外国語学習に努めましょう。

【TOEFL®テストについて】

TOEFL®テスト（Test of English as a Foreign Language）は、おもに英語圏の大学・大学院が、英語を母国語としない学生の入学要件として課している英語のテストです。そのスコアは、立命館大学が実施している長期の留学プログラムはもちろん、短期プログラムの選考などにおいても利用されます。

■TOEFL iBT®テスト

公的なTOEFL®テストスコア（正規スコア）とは、このTOEFL iBT®テストで取得したスコアを指します。コンピュータ上で行うテストでReading、Listening、Speaking、Writingの4つのセクションで構成されています。詳しくは実施団体（TOEFL®テスト日本事務局）のサイトで確認してください。

▶問い合わせ先

TOEFL®テスト日本事務局 ETS Japan 合同会社
<https://www.toefl-ibt.jp>

■TOEFL ITP®テスト

TOEFL®テストの団体受験プログラムであるTOEFL ITP®テストは、過去のペーパー版TOEFL®テスト（TOEFL® PBTテスト）で出題されたものを再利用しています。スコアは公的なものではありませんがTOEFL iBT®テストのスコアと高い相関関係があります。留学を意識している人は、まず、このTOEFL ITP®テストを受験してみましょう。TOEFL ITP®テストは立命館大学で受験することができ、年に数回実施されています。具体的な日程については、以下のHPで確認してください。

▶問い合わせ先

立命館大学言語教育センター
<http://www.ritsumei.ac.jp/gengo/gaikokugo-gakusyu/dantai.html/>



【IELTSについて】

IELTS（International English Language Testing System）とは、主にイギリス、オセアニア、カナダなどの高等教育機関への留学の際にスコア提出を求められる英語力判定テストです。ヨーロッパ、アメリカでもTOEFL®テストに代わりIELTSを採用する教育機関が増えています。派遣先大学によって、交換留学の選考においても利用されることがあります。

テストはリスニング・リーディング・ライティング・スピーキングの4つのセクションで構成されています。テスト結果は各セクションごとに1から9までのバンドスコアで評価される他に、総合的にオーバーオール・バンドスコアが評価されます。

▶実施団体の一例

公益財団法人 日本英語検定協会 公式HP
<https://www.eiken.or.jp/ielts/>

なお、IELTS for UKVIはテストの内容、難易度、採点基準等は通常のIELTSと同じですが、成績証明書にビザ申請用のIELTSを受験した旨、記載されます。IELTS for UKVIについては以下をご確認ください。

▶問い合わせ先

ブリティッシュ・カウンシル 公式HP
<https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts-uk-visa-immigration>

【TOEIC®L&Rテストについて】

TOEIC®L&Rテスト（Test of English for International Communication）とは、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。世界約60カ国で実施されており、可否ではなく10点から990点までのスコアで評価されます。公的なTOEIC®L&Rテストスコアを取得するためのテストは、一般的に「公開テスト」と呼ばれており、年に10回程度実施されています。

▶問い合わせ先

一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会（IIBC）
<https://www.iibc-global.org>

【初修外国語検定試験】

初修外国語の語学力を測るものとして、様々な検定試験があります。交換留学の応募には各検定試験3級程度の語学力が最低限必要であり、派遣先大学で正規科目を履修するにはより高い語学水準が求められます。初修外国語圏への交換留学を考えている場合には、国際基準の検定を受験することも検討し、語学力向上に努めて下さい。試験の実施回数は限られているため、事前に必要な情報を入手して準備してください。

※初修外国語とは、大学で初めて学ぶ英語以外の外国語で、経営学部ではドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語を指します。

※各試験は形式や目的がそれぞれ違います。したがって下表はあくまで参考値であり、自動的に換算されるものではありません。

【英語検定試験 難易度比較換算目安表】

TOEIC®L&Rテスト	TOEFL ITP®テスト	TOEFL iBT®テスト	IELTS™テスト	Cambridge	CEFR
900-990+	670+		8.5-9.0	CPE (C2 Proficiency)	C2
			8.0		
	600		7.0	CAE (C1 Advanced)	C1
890			6.5		
785	550	4	5.5-6.0	FCE (B2 First)	B2
590-600	500	3.5-4	5.0		
550	480	2.5-3.5	4.0-4.5	PET (B1 Preliminary)	B1
300-310	400	1-2.5			
220			3.0	KET (A2 Key)	A2
120			2.0		A1

CEFR=Common European Framework of Reference for Languages

(CEFRはヨーロッパ言語共通参照枠としてヨーロッパ全体で外国語の学習者の習得レベルを示す際に用いられるガイドラインです。)

【中国語検定試験 難易度比較換算目安表】

中検*1	HSK*2	試験の程度
1級	6級 (5,000語以上)	中国語の情報をスムーズに読んだり聞いたりすることができ、会話や文章により、自分の見解を流暢に表現することができる。 5,000語以上の常用中国語単語
準1級		
2級	5級 (2,500語)	中国語の新聞・雑誌を読んだり、中国語のテレビや映画と鑑賞することができ、中国語を用いて比較的整ったスピーチを行うことができる。 2,500語程度の常用中国語単語
3級 (1,000~2,000語)		
4級 (500~1,000語)	4級 (1,200語)	中国語を用いて広範囲の話題について会話ができ、中国語を母国語とする相手と比較的流暢にコミュニケーションをとることができる。 1,200語程度の常用中国語単語
準4級	3級 (600語)	生活・学習・仕事などの場面で基本的なコミュニケーションをとる事ができ、中国旅行の際にも大部分のことに対応できる。 600語程度の基礎常用中国語及びそれに相応する文法知識

*1 中国語検定試験 *2 漢語水平考試

※「一般財団法人日本中国語検定協会」「中国政府公認の中国語資格HSK」のホームページより転載

[中検] <http://www.chuken.gr.jp>

[HSK] <http://www.hskj.jp/>

(2) 外国語検定試験受験料補助制度・外国語講座受講料補助制度

立命館大学では、学生の自主的・積極的な外国語学習を支援するため、英語検定試験、初修外国語検定試験の受験を推奨しており、受験料を補助する制度を設けています。海外留学を目指す場合はもちろん、進路・就職活動にも有用なものですので、積極的に受験しましょう。

【制度の目的】

■学習目標の設定ができる！

高いスコアを目指して外国語学習に取り組むことは、学習の到着目標の設定となり、自分で学習成果の確認ができるので、励みになります。

■外国語の力を試すことができる！

現在の自分の外国語の運用レベルを知ることができます。

■立命館大学の留学プログラムに応募できる！

TOEFL ITP[®]テストで出願可能なプログラムもありますが、一部のプログラムへの申し込みには、TOEFL[®]テストの正規スコア（TOEFL iBT[®]テスト）やIELTSのスコアが必要です。

【経営学部 英語検定試験受験料補助制度】

経営学部では、外国語学習及び海外留学を支援するために、英語検定試験受験料補助制度を設けています。

対象学生：経営学部1回生～4回生

対象試験：①TOEFL iBT[®]テスト ②IELTS ③IELTS for UKVI

補助金額：15,000円（上限）

補助回数：1年（学年度）1回限り（ただし3月の試験は対象外）

応募資格：経営学部生で国際教育センターまたは経営学部が実施する留学・海外実習への応募を計画していること。加えて、直近セメスターのGPAが2.75以上であること。

※制度に関する案内は、RITSUMEIKAN STUDENT PORTAL > 「経営学部生のページ」 > 「学費・奨学金・補助金・経営学会」 > 「英語検定受験料補助」より確認してください。

【経営学部校友会 外国語講座受講料補助制度】

経営学部では、経営学部校友会からの補助により、外国語学習及び海外留学を支援するために、外国語講座受講料補助制度を設けています。

対象学生：経営学部生1回生～4回生

対象講座：言語習得センター（CLA）と孔子学院の補助対象の外国語講座。

補助金額：国際経営学科生は25,000円（上限）経営学科生は15,000円（上限）

補助回数：在学中に1回（各講座につき1回限り）

応募資格：経営学部生のうち①平素の学業成績が優秀で、②学習した外国語を活かす計画があり、③各種外国語講座で意欲的に学習した方（講座の欠席回数が2回以内であること）。加えて、④直近セメスターのGPAが2.75以上であること。

※制度に関する案内は、RITSUMEIKAN STUDENT PORTAL > 「経営学部生のページ」 > 「学費・奨学金・補助金・経営学会」 > 「外国語講座受講料補助」より確認してください。

(3) ビザ申請

【ビザ（査証）】

ビザ（査証）とは、政府ないしそれに相当する公的機関が、入国しようとする外国人の入国および滞在が差し支えないことの判断を示し、その許可を証した書類のことを言います。ただし、ほとんどの国では、入国の最終的な決定権はその国の入国審査官にあるので、ビザはあくまでも入国の推薦状であり、入国を保証するものではありません。

ビザの要・不要、申請のための必要書類、発行までに要する時間、申請手数料などは国によって様々で、その規程は予告無く変更されることがあります。申請に当たっては、必ず留学先国の大使館または領事館などに直接問い合わせ、最新情報を得たうえで、手続きをしてください。発行までに長い時間を要する場合があります。

※留学プログラムによっては、一括でビザ申請を行う場合があります。

※米国入国に際してのESTA（Electronic System for Travel Authorization）等、ビザ以外の事前手続きが必要な国・地域もあります。これについても留学プログラムによっては、一括で申請を行う場合があります。

(4) 海外での安全・危機管理および健康管理



【渡航前に治安状況を調べる】

留学先を決める段階から、各国の治安情報については、各自確認しておく必要があります。

1) 外務省「海外安全ホームページ」を確認する。

外務省の「海外安全ホームページ」で、海外へ渡航する日本人が、現地で事件や事故に巻き込まれないための情報を提供しています。国・地域別に、「危険情報」「スポット情報」「広域情報」にわけて、犯罪・事件・テロについての情報や、渡航・滞在における注意事項を発信しています。また、「安全対策基礎データ」には、その国の犯罪事情や習慣、ビザ・出入国審査、滞在時の留意事項、緊急連絡先などがまとめられていますので、事前に渡航先の情報を必ず確認しておいてください。

▶外務省海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp>

2) 留学先国の公的機関の情報を確認する。

地域の犯罪件数など、ホームページで公表している国もありますので、留学先の警察庁などのサイトを事前に確認しておいてください。

3) 現地の日本大使館・領事館の情報を確認する。

国や地域によっては、現地の日本大使館・領事館のホームページで治安情報を発信している場合があります。

4) 現地で生活した経験のある人から情報を得る。

過年度留学経験者や本学で学んでいる留学生から、現地の生の情報を得ておくことも大切です。近づいてはいけない地域や外出しては危険な時間帯など、より具体的に情報を収集しておきましょう。

【留学中の健康管理と危機管理】

立命館大学では、海外留学派遣が決定した学生を対象として、保健センターガイダンスおよび危機管理ガイダンスを実施しています。留学中に注意しなければならない事柄や、緊急事態の対処方法など、保健センター医師および専門家により説明がありますので、必ず出席してください。

海外留学中の危機管理サービスについて、経営学部事務室が提供する海外留学プログラムで留学する学生は、本学指定の危機管理サービス（有料）に加入することが義務付けられています。本サービスでは、24時間・365日利用できる相談窓口や、安否確認アプリなど皆さんが海外で安心・安全に過ごせるよう後方支援を行います。また、相談窓口については、事故やケガ等のトラブル相談だけでなく、留学生活中に生じるお困りごとについても相談することができ、皆さんの身近な相談役としてサポートしてくれます。

■現地到着後の所在登録について

日本国籍を有する方は、必ず以下の外務省の「渡航登録サービス」にご自身の情報を登録しましょう。

▶【3ヶ月未満の渡航：外務省海外旅行登録「たびレジ」ホームページ】

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

▶【3ヶ月以上の渡航：外務省在留届電子届出システム「ORRnet」ホームページ】

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

(5) 海外旅行保険・旅行事故対策費用保険

【海外旅行保険】

立命館大学の海外留学プログラムで留学する学生は、本学が指定する保険会社と包括契約をする海外旅行保険に加入することが義務付けられています。留学先によっては、この保険に加入していても現地での健康保険や医療保険への加入が義務付けられることがあります。その場合は派遣先機関の指示に従って現地保険にも加入する必要があります。

【旅行事故対策費用保険】

海外留学プログラムで留学する参加者が留学中に事故、病気等になり、事故対応費用や救援者費用の支出を余儀なくされた場合に補償する保険です。大学で一括して加入手続きを行いますので、留学プログラム参加者個人が加入手続きを行う必要はありません。

【連絡先について】

海外旅行保険・旅行事故対策費用保険の詳細については、以下まで問い合わせてください。

▶ 取り扱い代理店／株式会社クレオヒューマン保険旅行事業部
TEL：075-463-9178 E-mail：travel-r@creotech.co.jp

(6) 留学中に本学で発生する重要な手続き

留学中であっても重要な手続きが発生する場合があります。必要な手続きは回生などによって異なります。以下に主な手続きについて記載しています。自身が該当すると思われる事項については、必ず留学前に経営学部事務室に確認を取っておいてください。

その他必要な情報については、RITSUMEIKAN STUDENT PORTALや学内メールで配信される場合があります。留学中も情報のチェックは怠らないようにしてください。

【留学中に発生する重要な手続き(例)】

受講登録

専門演習(ゼミ)募集

学籍異動

(7) 帰国後の手続き

プログラムによっては、事後レポート・報告書・体験記の提出が求められる場合があります。所定の講義・ガイダンス等が設定されている場合は、必ず参加してください。

学籍が「留学」になるプログラムについては、帰国後に「留学終了届」を速やかに提出してください。提出に際しては、他に必要な手続きがないか必ず確認してください。なお、「留学終了届」を提出しなければ、留学を終了し、帰国していることを経営学部で確認することができないため、学籍を「在学」とする手続きが行えず、立命館大学での講義を受講できません。

派遣先大学開講科目を受講して単位修得し、本学での単位認定を希望する場合は「留学帰国者単位認定案申請書」、履修期間および成績が明記されている単位修得証明書、シラバス(和訳も必要)等を速やかにOIC学びステーションへ提出してください。本人による帰国後の単位認定申請を受けて、所定の基準に基づいて経営学部教授会において審議し、承認されれば、本学の科目として単位認定します。



BSA

立命館大学 経営学部事務室

〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150
Tel : 072-665-2090

BSA ホームページ <https://ritsumeib-a-gblp.jp/>



※TOEIC®、TOEFL®は Educational Testing Service (ETS) の登録商標です。
※TOEIC®L&RテストのL&Rは、LISTENING AND READINGの略称です。